

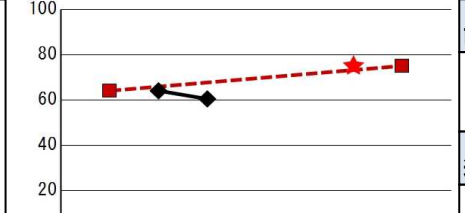
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 01 地域医療体制の充実

あるべき姿

必要な時に、必要な医療を受けられるようになっています。

■施策の成果状況と評価

指標①	市内や近隣に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合（％）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【地域医療推進課】		64	60.4	75	☂ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対前年度
	（状況）平成28年度は60.4％で、前回調査より3.6ポイント低下しています。男女別には差がありませんが、30～50代の満足度、安田地区の満足度が低くなっています。 （原因）市民のニーズが多様化する中、専門的な医療を求める声も多くなっていますが、市内では十分ではありません。 あがの市民病院で救急・時間外の受け入れも行っていますが、常勤医師の不足等により受け入れられるケースが限られており、医療資源が不足しています。					☂ (低下)
		H26 H27 H28 H29 H30 H31 H32				目標達成度 ■■■ (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 あがの市民病院の機能強化

指標	外来患者数（人）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【地域医療推進課】	89,306	94,007	99,561	103,000	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は99,561人で、平成27年度より5,554人（5.9%）、総合計画基準値より10,255人増え、目標値に向けて順調となっています。 (原因) 新病院が平成27年10月に開院したことや、外来の診療枠が増えたことが増加の要因と考えられます。（増加診療枠：糖尿病・生活習慣病センター4枠、耳鼻咽喉科2枠、内科2枠 月曜日～金曜日）					☀ (向上)
		(人)				目 標 達 成 度 ■■■ (中)

基本事業01 あがの市民病院の機能強化

指標	病床利用率（%）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【地域医療推進課】	66.8	64.1	65.2	88	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は65.2%で、平成27年度より1.1ポイント利用率が増加していますが、総合計画基準値より1.6ポイント減少しています。病床利用率が70%を超えている病棟もありますが、50%台の病棟(療養病床)もあることから、目標値に向けて更なる入院患者受入経路の開拓が必要な状況です。 (原因) 救急搬送者の受け入れが増加したことや、内科の常勤医師が1名増え、入院患者を積極的に受け入れたことにより増加したものと考えられます。療養病床に関しては特別養護老人ホームの病床が増えたためと考えられます。					☁ (横ばい)
		(%)				目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業02 各医療機関の機能分担の強化

指標	かかりつけ医を持っている市民の割合（%）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【地域医療推進課】		58.5	64.0	70	☀ (向上)
評価	基準値は初取得の平成27年度の値 (状況) 平成28年度は64.0%となり、前回調査より5.5ポイント増えており、前進しています。 (原因) 男女別では女性が4.4ポイント高く、年齢別では50代以上が半数以上かかりつけ医を持っています。地区別では特に差はありません。 健康管理のためにかかりつけ医を持つことの必要性を、広報や健康講座等の機会に啓発を行ってきたことが浸透してきたことも一因と考えられます。					☀ (向上)
		(%)				目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業02 各医療機関の機能分担の強化

指標	休日・夜間診療体制を知っている市民の割合（%）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【地域医療推進課】		55.8	58.0	80	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成28年度は58.0%となり、前回調査より2.2ポイント増えていますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因) 年齢別では20代が45.2%と低く、男女別では男性が女性よりも11%低くなっています。「暮らしの安心ガイド」を各世帯へ配付し、広報等でも救急・時間外の受診について周知を図っていることが、少しずつ浸透してきていると考えられます。					☁ (横ばい)
		(%)				目 標 達 成 度 ■■■ (低)

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 02 健康づくりの推進

あるべき姿

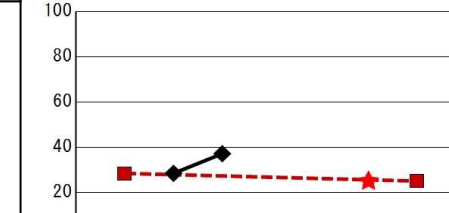
心身の健康が保たれ、元気に生活を送っています。
市民の自発的な健康づくりの取り組みが活発化しています。

■施策の成果状況と評価

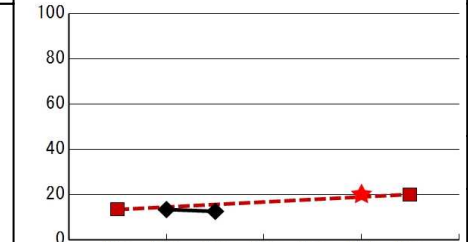
指標 ①	健康であると感じる市民の割合（身体）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】		89.1	89.0	➔	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				☁ (横ばい)
	（状況）平成28年度は、89.0％で、前回調査より0.1ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、高い割合を維持しています。 （原因）地域差や男女差は見られませんでした。年代が若いほど「健康である」と答える割合が高いですが、70歳を過ぎても8割以上が、「健康である」と感じています。 施策成果が横ばいの理由としては、構成する基本事業の成果指標推移も横ばいが多くなっていることが影響しています。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)
指標 ②	健康であると感じる市民の割合（こころ）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】		86.9	86.8	➔	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				☁ (横ばい)
	（状況）平成28年度は86.8％で、前回調査より0.1ポイント低下していますが統計誤差の範囲であり、高い割合を維持しています。 （原因）地域差、男女差、職業別の差は見られず、「無職」でも、82％が「健康である」と答えています。また、年齢が上がっても「健康である」と答える人の割合は下らず、むしろ、20代（81.9％）、50代（81.7％）よりも、70～74歳が91％、75～79歳が87.3％と高齢者の方が高い状況です。 施策成果が横ばいの理由としては、構成する基本事業の成果指標も横ばいが多くなっていることが影響しています。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)
指標 ③	人口千人当たりの病気等での死亡者数（死亡率）（人）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	12.1	11.7	12.4	11	☁ (横ばい)
評価	各年度の指標は1年前の値、基準値は平成25年度実績値	(人)				☁ (横ばい)
	（状況）平成27年度は12.4人と、前年より0.7人増加しました。総合計画基準値から0.2人減少し、横ばいの状況と考えます。 （原因）平成27年度の死亡者数は607人、うち病気等での死亡者538人となっています。死因別死亡数では、老衰が1.7倍に増え良い傾向も見られますが、がんが1.15倍に増加しています。部位別、男女別では、男性の肺がんと胃がんが特に多い状況です。高齢化のため、がん、脳卒中、心疾患の3大死因が減少することは難しい状況です。しかしながら、当市の特定健診、がん検診の受診率は県平均を下回っており、受診者数が横ばいであることが原因の一つと考えられます。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

■基本事業の成果状況と評価

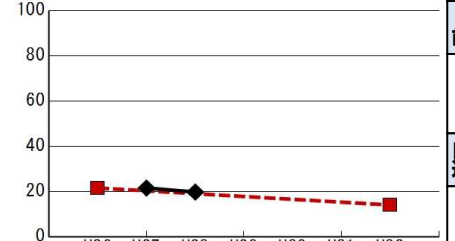
基本事業01 望ましい食習慣の確立

指標	朝食の欠食者の割合（20歳代）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																
	【健康推進課】		28.4	37.1	25	 (低下)																
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)					対 前年度															
	（状況）平成28年は37.1%で前回調査より8.7ポイント増加しており、順調とはいえません。男女別では男性42.1%、女性31.3%でした。男性の欠食者の割合が高い状況です。 （原因）生活環境や雇用基盤の変化により不規則勤務者の増加傾向が見られます。また若い世代の夜型生活スタイル等の増加や家族の生活様式がバラバラとなり、家族そろって朝食を摂る習慣が欠落してきていることが原因と思われます。	 <table><caption>朝食の欠食者の割合（20歳代）（％）の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>28.4</td></tr><tr><td>H27</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>37.1</td></tr><tr><td>H29</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>25 (目標)</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	H26	28.4	H27	-	H28	37.1	H29	-	H30	-	H31	-	H32	25 (目標)
年度	実績値																					
H26	28.4																					
H27	-																					
H28	37.1																					
H29	-																					
H30	-																					
H31	-																					
H32	25 (目標)																					
		目 標 達 成 度					 (低)															

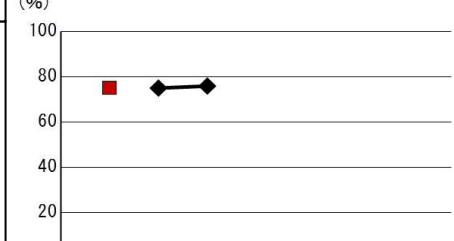
基本事業02 運動・身体活動の推進

指標	体操を定期的に実施している市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値															
	【健康推進課】		13.3	12.5	20	 (横ばい)															
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度															
	（状況）平成28年度は12.5%で、前回調査より0.8ポイント低下しています。統計誤差の範囲で、横ばいの状況です。 （原因）年代別の割合では、60歳以上が30%以上の実施率が高くなっています。地区では、笹神地区が若干低い傾向です。 実施されている体操の種類は、ラジオ体操24.7%、水中運動7.8%、シャキ！いき！健康法5.6%、けんこつ体操4.7%となっています。主に高齢者や中高年者を対象として運動継続のきっかけや環境づくりを目的とした「元気長生き応援事業」や「塾のコンビニ事業」、「運動普及員事業」等により運動実施者の底辺拡大が図られているものと思われます。	 <table><caption>体操を定期的実施している市民の割合（％）の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>13.3</td></tr><tr><td>H27</td><td>-</td></tr><tr><td>H28</td><td>12.5</td></tr><tr><td>H29</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>20 (目標)</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	H26	13.3	H27	-	H28	12.5	H29	-	H30	-	H31	-	H32	20 (目標)
年度	実績値																				
H26	13.3																				
H27	-																				
H28	12.5																				
H29	-																				
H30	-																				
H31	-																				
H32	20 (目標)																				
		目 標 達 成 度				 (低)															

基本事業03 禁煙と適正飲酒の推進

指標		実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
習慣的に喫煙している市民の割合（％）			21.5	19.7	14	 (横ばい)
【健康推進課】						
基準値は、初取得の平成27年度の値		(％)				
評価	（状況）平成28年度は19.7%で、前回調査より1.8ポイント改善していますが、統計誤差の範囲と思われる、横ばいの推進状況です。 （原因）喫煙者の多くは働き盛りが多く、65歳以上になると減少しています。性別では男性が34.0% 女性が8.5%となっています。健康増進法による受動喫煙防止の取り組みが市民に広がり、喫煙者が減少傾向にあります。 施設内禁煙、敷地内禁煙がここ数年で上昇しています。イベントや各種健診、健康相談等でたばこの害について、普及啓発しているためと思われます。					
		対 前年度				
		 (横ばい)				
		目 標 達 成 度				
		 (低)				

基本事業03 禁煙と適正飲酒の推進

適正飲酒を守っている市民の割合（％）		実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値	
指 標			74.9	75.8	➔		
	【健康推進課】					(横ばい)	
評 価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)					対 前年度
	（状況）平成28年度は75.8%で、前回調査より0.9ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲と思われ、横ばいの状況です。 （原因）年代別でみると40歳代～65歳までの働き盛りに習慣的飲酒が見られます。男性が多く、女性は少なくなっています。特定健診問診表より国や県、同規模自治体と比較しても飲酒量が多い傾向です。イベントや各種健診、健康相談等で適正飲酒について普及啓発していることから市民の意識の変化に繋がっていると思われます。						
		目 標 達 成 度					
							(低)

基本事業04 こころの健康づくりの推進

指標	悩みを相談できる人や場所を持っている市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】		88.3	88.2	→	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				
	（状況）平成28年度は88.2％で、前回調査より0.1ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲と思われ、横ばいです。 （原因）市民アンケートからは男性は女性より相談できる相手が少ない傾向が見られます。地区では、笹神地区で相談できない方が若干多い傾向が見られます。 毎週行っている「こころの健康相談」等の相談窓口を各種健診・訪問やイベントを通し周知した結果、新規相談者が増えています。関係機関と連携したこころの健康に関する支援に取り組んでいます。	対前年度: ☁ (横ばい) 目標達成度: ■■■ (低)				

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	特定健診受診率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	38.1	39.5	40.0	60	☀ (向上)
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(％)				
	（状況）平成27年度の受診率は40.0％で、平成26年度と比べて0.5ポイント上昇し、総合計画基準値との比較では1.9ポイント向上しています。 （原因）県平均の受診率は42.8％で、阿賀野市の年齢別では50歳代前半の受診率が27.2％と低く、特に男性の受診率が22.2％となっています。40歳代は個別受診勧奨訪問や未受診者個別通知を実施していることが、受診率向上に結びついたと考えられます。	対前年度: ☀ (向上) 目標達成度: ■■■ (低)				

基本事業05 健（検）診受診率の向上

指標	特定保健指導実施率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】	51.2	58.9	55.9	60	☀ (向上)
評価	各年度の指標は1年前の値（公表時期による）	(％)				
	（状況）平成27年度は55.9％で、平成26年度より3.0ポイント低下、総合計画基準値では4.7ポイント向上しており、特定保健指導対象者の半数以上に特定保健指導を実施しています。県平均の35.4％を大きく上回っています。 （原因）毎年対象となる人が多く、2年目以降は拒否または、途中でやめてしまう傾向が強く、家庭訪問、夜間、休日等の個別対応等を行っているが、継続が困難なケースもあり、一進一退の状況になっています。	対前年度: ☂ (低下) 目標達成度: ■■■ (中)				

基本事業06 歯と口腔の健康づくりの推進

指標	定期的に歯科医院等で歯石除去や歯面清掃を受けている市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】		22.1	24.9	30	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				
	（状況）平成28年度は24.9％で、前回調査より2.8ポイント向上し、順調に推移しています。 （原因）平成28年度の市民アンケートでは、40歳から49歳が29.3％、70歳から74歳が29.5％と高い結果となりました。歯の困りごとが増える年代を対象に無料歯科健診を拡大したことや健康教育を繰り返し実施することで少しずつ効果が出てきたと思われます。歯の困りごとが少ない20歳～29歳は11.4％と低い状況です。また、安田地区が若干低い傾向が見られます。	対前年度: ☀ (向上) 目標達成度: ■■■ (低)				

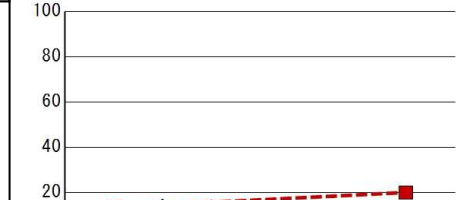
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 03 生涯スポーツの充実

あるべき姿

多くの市民がスポーツに親しんでいます。

■施策の成果状況と評価

指標 ①	週1回以上、スポーツに親しんでいる市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【生涯学習課】		13.4	13.0	20	 (横ばい)																								
評 価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度																								
	（状況）平成28年度は13.0％で、前回調査より0.4ポイント低下しており、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 （原因）年齢別では、70～74歳が20.1％で1位、20～29歳が20.0％で2位となっております。働き盛り世代である40～49歳が10.5％、子育て世代である30～39歳が10.9％と低くなっており、スポーツを楽しむ時間的な余裕が少ないと思われます。	 <table><caption>スポーツ参加率の推移と目標</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (％)</th><th>目標値 (％)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>13.4</td><td>13.4</td></tr><tr><td>H27</td><td>13.4</td><td>13.4</td></tr><tr><td>H28</td><td>13.0</td><td>13.0</td></tr><tr><td>H29</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>-</td><td>20.0</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (％)	目標値 (％)	H26	13.4	13.4	H27	13.4	13.4	H28	13.0	13.0	H29	-	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	-	20.0	 (横ばい)
年度	実績値 (％)	目標値 (％)																												
H26	13.4	13.4																												
H27	13.4	13.4																												
H28	13.0	13.0																												
H29	-	-																												
H30	-	-																												
H31	-	-																												
H32	-	20.0																												

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生涯スポーツ施設の利用促進

指標	生涯スポーツ施設の満足度 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【生涯学習課】		78.3	78.7	85	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				☁ (横ばい)
	(状況) 平成28年度は78.7%で、前回より0.4ポイント向上しましたが、統計誤差の範囲であり、横ばいとなっています。 (原因) 各施設は老朽化が進んでおりますが、平成27年度の水原総合体育館のリニューアルが維持している要因と考えられます。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 (低)

基本事業01 生涯スポーツ施設の利用促進

指標	この1年間に生涯スポーツ施設を利用したことがある市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【生涯学習課】		12.2	13.2	15	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				☁ (横ばい)
	(状況) 平成28年度は13.2%で、前回調査より1.0ポイント向上しましたが、統計誤差の範囲であり、横ばいです。 (原因) 水原地区の市民の利用率が高くなっています。年齢では60～64歳利用者が8.0%と一番低くなっておりますが、65歳以上の利用者が各年代で10%を超えています。65歳以上の方のトレーニングルーム、ランニングコース無料化が要因と考えられます。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 (低)

基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	子どもが適度な運動をしていると感じる中学生以下の子どもを持つ保護者の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【生涯学習課】		61.3	60.6	70	☁ (横ばい)
評価	授業以外で週2回以上運動しているか(基準値は平成27年)	(%)				☁ (横ばい)
	(状況) 平成28年度は60.6%で、前回調査よりも0.7ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲であり、横ばいです。 (原因) 小学生は学校での部活がなく、スポーツ少年団が民間のスポーツ教室へ行く形ですが、スポーツ少年団員への参加が減少していることも要因です(平成28年度現在854名登録ですが、昨年度より77名減)。 中学生は、運動部の部活動参加者が減少していることが要因で、女子の体力テストの成績も低下しています。					☁ (横ばい)
						目 標 達 成 度 (低)

基本事業02 スポーツに触れ合う機会の提供

指標	スポーツ講座・教室・大会の年間参加者数 (人)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【生涯学習課】	9,806	10,756	12,270	10,100	☀ (向上)
評価		(人)				☀ (向上)
	(状況) 平成28年度は12,270人で、平成27年度より1,514名増加、総合計画基準値との比較では2,464名増加(25%向上)となっており、目標を達成している状況です。 競技大会は体育協会、講座・教室・レクレーションの要素が強い大会は市・総合型クラブが担っており、参加者数は対前年比14.1%の増となっております。 (原因) 体育協会のバスケットボール教室への参加者が700名増加、「子どもの体力向上支援事業」による幼児期運動能力測定を2園から15園に拡大で400名増加、その他各種教室が増加したことによるものです。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度 (達成)

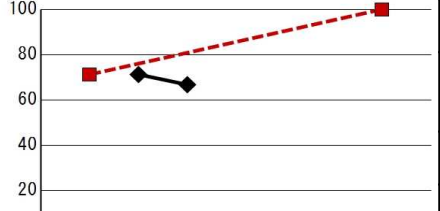
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 04 地域福祉の推進

あるべき姿

住民同士で相互扶助ができていると思う市民が増えています。

■施策の成果状況と評価

指標①	住民同士で相互扶助ができていると思う市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		71.2	66.7	100	 (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				(横ばい)
	（状況）平成28年度は66.7％で、前回調査より4.5ポイント低下していますが、統計誤差の範囲と考えており、横ばいと評価しますが、目標には相当の努力が必要です。 （原因）指標の取得が昨年からだったため経年の動向は分析できません。 性別では男性は女性より1.5％高く、地区別では京ヶ瀬地区が最も高く68.6％でした。 また、年代別では最も高いのは65～69歳の70.6％、最も低いのは40～49歳の58.6％という数値でした。また、ご近所付き合いや連帯感の希薄化も影響を及ぼしています。					対 前年度
						 (横ばい)
						目 標 達成度
		 (低)				

指標	近所で見守りが必要な人の存在を知っている市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【社会福祉課】		49	46.2	54	 (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成28年度は46.2%で、前回調査より2.8ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因) 地区では笹神が60.1%で高く、居住年数が10年未満では1〜3割以下で低く、最も高いのは生まれてからずっと住んでいる方の52.9%となっており、居住年数が長くなるにつれて割合は高くなっています。指標の取得が昨年だったため経年の動向は分析できません。 統計誤差の範囲内ですが、新規居住者が積極的にかかわらないことが影響し、ご近所付き合いや連帯感の希薄化にもつながっています。	(％) 				
		対前年度 (横ばい) 目標達成度 (低)				

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 05 セーフティネットの推進

あるべき姿

自立に困難を抱える人が、セーフティネットによって安心して生活を送っています。

■施策の成果状況と評価

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 生活困窮者自立支援の推進

指標	支援により就労した人員数（累計）（人）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		11	12	24	☀ (向上)
評価	基準値は平成27年度単年の実績値	(人)				対 前年度
	（状況）平成28年度は12件で、平成27年度より1件増加しており、微増です。 （原因）新規に相談を受けた件数は123件あり、その内訳は健康関連23件、介護関連4件、家族関係29件、収入関連39件、未就労18件等となっており、未就労により生活困難を抱える相談者18人に対して、個々の状況を聞き取り就労につながる対応をした結果、12人が就労することとなりました。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業01 生活困窮者自立支援の推進

指標	問題を解決できた件数（累計）（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		33	40	72	☀ (向上)
評価	基準値は平成27年度単年の実績値	(件)				対 前年度
	（状況）平成28年度は40件で、平成27年度より7件増加しており、順調といえます。新規受付相談件数123件のうち、相談者が抱える課題を解決できたのは、40件でありました。 （原因）新規に相談を受け付けた件数は123件あり、その内訳は健康関連23件、介護関連4件、家族関係29件、収入関連39件、未就労18件等となっており、就労による家計の改善が大きく、ついで新規一般就労を開始できた、債務整理が出来たなどの解決事案となっています。相談者に寄り添い状況を聞き取り、必要な支援を実施したことが解決へとつながりました。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 生活保護制度の適正な実施

指標	生活保護率（‰）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	6.67	6.71	-		
評価	社会情勢に左右されるため、目標値は設定しません。	(‰)				(比較不可)
	（状況）平成27年度は6.71‰で、平成26年度より0.04ポイントあがっています。平成28年度の実績は12月に公表予定です。 （原因）新規保護世帯数が42件、就労による自立件数が7件、死亡による廃止件数が10件となっています。現在保護を受けている世帯の構成としては、就労可能世帯が40世帯、高齢者の生活保護世帯が103世帯、障害者の生活保護世帯が34世帯となっており、高齢世帯の増加が大きな要因となっています。					対 前年度 (比較不可) 目 標 達成度 (---)

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 06 防災減災体制の充実

あるべき姿

安心して暮らせる環境が整備されています。

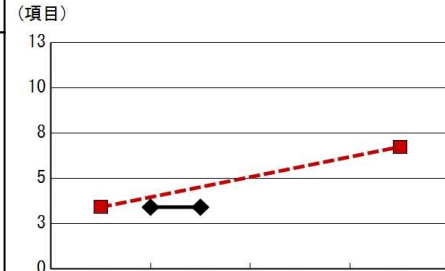
■施策の成果状況と評価

指標①	災害死傷者数（人） 【危機管理課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
		0	3	0	0	☀ (向上)
評価	（状況）平成27年度は3人（死者1人、軽症者2人）でしたが、平成28年度はいませんでした。 （原因）平成27年度の要因災害は、台風15号（8月25日～26日）と平成28年1月の大雪によるものでした。 平成28年度は特に大きな自然災害がなかったことが最大の要因ですが、加えて台風の上陸が多かったにもかかわらず、より多くの市民が災害への備えを実践するなど、防災減災意識の高揚に取り組んできていることも大きいと思われます。	(人)				☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

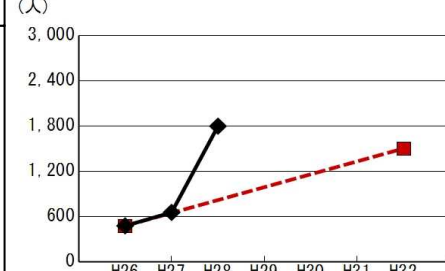
指標②	人口1万人当たりの火災発生件数(出火率)（件） 【消防本部】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
		3.3	2.0	4.2	2.7	☂ (低下)
評価	（状況）平成28年は4.2件で、昨年に比べて2.1倍に増加しています。 （原因）火災件数は平成27年度の9件から18件に増加しています。そのうちストーブが原因の火災が、0件から5件に増加しています。薪ストーブを含むストーブの設置方法や取り扱いの不備が大きな原因と考えられます。	(件)				☂ (低下)
						目 標 達成度 ☂ (低)

■基本事業の成果状況と評価

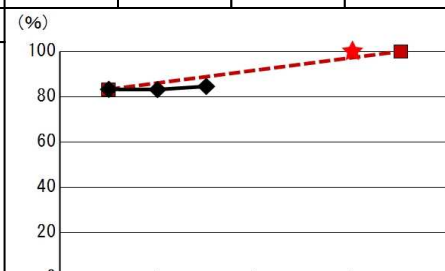
基本事業01 防災減災意識の高揚

指標	災害に備え家庭で実践している事項数（平均）（項目）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】		3.53	3.53	7	☁ (横ばい)
評価	全13項目での平均実施項目（基準値は平成27年度取得）	(項目)				対 前年度
	（状況）全13項目の平均実施項目は、平成28年度は前回と同数値の3.53項目で変化なく、横ばいの状況です。 （原因）上位5項目は前回調査と変わりありませんが、「避難する際に隣近所の助け合いが必要であることを知っている」が1.9%増加して4番目から3番目となり、自主防災組織等の取り組みにより、災害に備える意識の高まりのほか、共助の精神が育まれていると思われます。しかし「災害広報ダイヤルの電話番号を知っている」など8項目が20%未満と伸びていません。地域の差はありませんが、年齢別にみると60歳未満が低いため、より啓発が必要となります。					☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

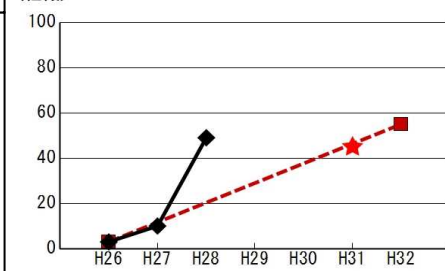
基本事業01 防災減災意識の高揚

指標	防災訓練参加者数（市及び自主防災組織等の訓練）（人）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】	475	653	1,796	1,500	☀ (向上)
評価		(人)				対 前年度
	（状況）平成28年度は1,796人で、平成27年度よりも1,143人増加、総合計画基準値より1,467人増加しました。防災訓練参加者は、順調に伸びてきています。 （原因）市地域防災訓練（358人）や防災塾など市事業により自治会での防災訓練（1,438人）が実施されたことにより、防災訓練参加者が増加したものです。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (達成)

基本事業02 地域防災力の強化

指標	自主防災組織に加入している世帯の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】	83.2	83.1	84.5	100	☁ (横ばい)
評価		(％)				対 前年度
	（状況）平成28年度は84.5%で、2自治会が新たに結成し1.4ポイント伸びたものの、組織率が80%を超えて伸び悩んでいる状況となっています。 ・組織済 236自治会(85.2%) 11,967世帯(84.5%) ・平成28年度新規組織化自治会 2自治会 90世帯 （原因）いろいろな機会を通じて未組織自治会へ働きかけを実施しておりますが、地域における自主防災組織の具体的な活動が見えないため、必要性が実感できないことが進まない原因と考えられます。					☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

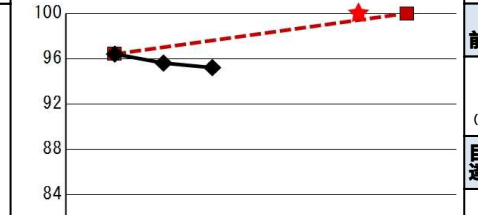
基本事業02 地域防災力の強化

指標	防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数（組織）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】	3	10	49	55	☀ (向上)
評価		(組織)				対 前年度
	（状況）平成28年度は49組織で、平成27年度よりも39組織増加、総合計画基準値との比較では、36組織増加となっており、防災訓練を実施した自治会数は順調に推移しています。 （原因）市地域防災訓練や防災塾など市事業による自治会での防災訓練が実施されたことにより、増加したものです。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)

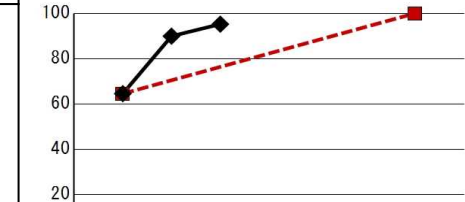
基本事業02 地域防災力の強化

指標	避難行動要支援者支援計画を策定した自主防災組織及び自治会数（組織） 【危機管理課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値																								
		17	35	40	85	☀ (向上)																								
評価	（状況）平成28年度の要支援者支援計画策定自治会数は、40自治会と平成27年度より5組織増加、総合計画基準値との比較では23自治会增加しており、目標に向けて計画通り進んでいます。 （原因）防災訓練や防災塾などの市事業の実施に伴い策定した自治会增加したものです。	（組織） <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>17</td><td>17</td></tr><tr><td>H27</td><td>35</td><td>25</td></tr><tr><td>H28</td><td>40</td><td>35</td></tr><tr><td>H29</td><td></td><td>45</td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>55</td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>75</td></tr><tr><td>H32</td><td></td><td>85</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	目標値	H26	17	17	H27	35	25	H28	40	35	H29		45	H30		55	H31		75	H32		85	☀ (向上)
						年度	実績値	目標値																						
H26	17	17																												
H27	35	25																												
H28	40	35																												
H29		45																												
H30		55																												
H31		75																												
H32		85																												
						対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 ■■■ (低)																								

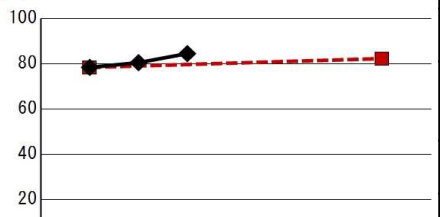
基本事業03 消防団体制の強化

消防団員の充足率（％）		実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																								
指 標	【消防本部】	96.4	95.6	95.2	100	 (横ばい)																								
評 価	（状況）平成28年度が95.2％で、定員810人に対して771人、欠員が39人です。定員割れが76部中29部で、横ばい傾向です。充足率が前年比で増加した部が11部、減少した部が14部。充足率が最大の部は140.0％、最少の部は45.5％となっています。 （原因）定員割れが多いのが、水原地区の市街地です。各部9～12人の定員で、充足率は45.5％から140％となっています。各部による勧誘の仕方に違いがあり、充足率の開きに繋がっていると思われます。	 <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>96.4</td><td>96.4</td></tr><tr><td>H27</td><td>95.6</td><td>97.5</td></tr><tr><td>H28</td><td>95.2</td><td>98.5</td></tr><tr><td>H29</td><td>-</td><td>99.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>100.0</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>100.0</td></tr><tr><td>H32</td><td>-</td><td>100.0</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H26	96.4	96.4	H27	95.6	97.5	H28	95.2	98.5	H29	-	99.5	H30	-	100.0	H31	-	100.0	H32	-	100.0	対 前年度
	年度	実績値 (%)	目標値 (%)																											
H26	96.4	96.4																												
H27	95.6	97.5																												
H28	95.2	98.5																												
H29	-	99.5																												
H30	-	100.0																												
H31	-	100.0																												
H32	-	100.0																												
						 (横ばい)																								
						目 標 達成度																								
						 (低)																								

基本事業04 災害時支援体制の確立

県の備蓄指針に対する充足率 (%)		実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
指標	【危機管理課】	64.5	89.9	95.2	100	☀ (向上)
		(%) 				☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度の充足率は、主食、副食、水、毛布における県の備蓄指針に対して95.2%となり、平成27年度に比べ5.3ポイント、総合計画基準値より30.7ポイント増加しており、順調に推移しています。 (原因) 平成28年度に充足を満たしていなかった副食及び毛布を購入し、副食は100%、毛布は88%まで充足率を上げたことによるものです。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■■■ (高)

基本事業05 耐震化の推進

指定避難所の耐震化率（％）		実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																								
指 標	【危機管理課】	78.3	80.4	84.4	82.2	 (向上)																								
		(％)																												
評 価	（状況）総合計画基準値の78.3％から、平成28年度末では6.1ポイント上昇し、84.4％と目標を達成しました。 （原因）未耐震化施設の指定解除を1箇所、耐震化済施設の指定を1箇所行いました。	 <table border="1"><caption>実績値と目標値の推移 (割合)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th><th>目標値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>78.3</td><td>78.3</td></tr><tr><td>H27</td><td>80.4</td><td>80.0</td></tr><tr><td>H28</td><td>84.4</td><td>81.0</td></tr><tr><td>H29</td><td></td><td>82.0</td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>82.0</td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>82.0</td></tr><tr><td>H32</td><td></td><td>82.2</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H26	78.3	78.3	H27	80.4	80.0	H28	84.4	81.0	H29		82.0	H30		82.0	H31		82.0	H32		82.2	対 前年度
	年度	実績値 (%)	目標値 (%)																											
H26	78.3	78.3																												
H27	80.4	80.0																												
H28	84.4	81.0																												
H29		82.0																												
H30		82.0																												
H31		82.0																												
H32		82.2																												
						 (向上)																								
						目 標 達成度																								
						 (達成)																								

基本事業05 耐震化の推進

指標	木造住宅の耐震化率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	72.6	73.1	73.9	81	(横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は73.9%で、平成27年度より0.8ポイント、総合計画基準値より1.3ポイント向上しました。耐震化は徐々に上昇しています。 (原因) 増加の主な要因は、住宅の建替えです。耐震化を進める取組として現状を知るための耐震診断を無料とし、その後の改修にかかる費用の一部を補助しています。大規模な地震が多かったことから建替えも含め、耐震化への意識が向上したものと思われます。					(対前年度)
						(低)

基本事業06 治水対策の推進

指標	床上・床下浸水以上の被害に遭った家屋数（棟）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】	6	0	0	0	(向上)
評価	(状況) 平成28年度は0棟で、総合計画基準値では6棟でしたが、平成27年より0棟となっています。 (原因) 平成28年度は特に大きな自然災害がなかったことが最大の要因です。梅雨前線や相次いだ台風襲来による大雨や洪水の警報が2回、注意報が5回発令されましたが、河川改修等が進んだことによる効果が大きいと思われます。					(対前年度)
						(達成)

基本事業07 防火意識の高揚

指標	住宅用火災警報器の設置率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【消防本部】	79	79	81	86	(横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は81%で、総合計画基準値および平成27年度に比べて2ポイント増加しており、徐々に向上しています。 (原因) 住宅用火災警報器の効果や重要性を、イベント、広報誌、ホームページなどで広く住民に周知したことが成果向上に結び付いたと考えられます。					(対前年度)
						(低)

基本事業08 応急手当の普及

指標	市民による蘇生処置実施率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【消防本部】	51.7	59.3	58.1	95	(向上)
評価	指標値は1～12月の暦年でカウント (状況) 平成28年は58.1%で総合計画基準値より6.4ポイント上昇しています。対前年は1.2ポイント低下ですが、微減のため横ばいと考えます。 (原因) 救命入門コースと普通救命講習の修了者が、合わせて1,087人増加したことが原因と考えられます。					(対前年度)
						(低)

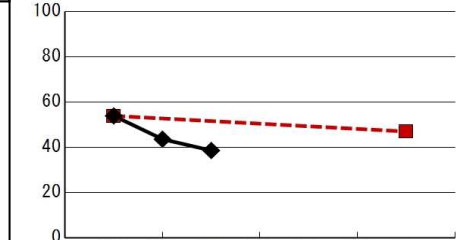
政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 07 防犯対策の充実

あるべき姿

犯罪のない安全なまちになっています。

■施策の成果状況と評価

指標 ①	人口1万人当たりの犯罪発生件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値									
	【危機管理課】	53.8	43.5	38.5	46.9	 (向上)									
評 価	指標値は1～12月の暦年でカウント	(件)				対 前年度									
	（状況）平成28年は38.5件で、平成27年より5件減少し、総合計画基準値と比較して、15.3件減少し、目標を達成している状況です。 （原因）犯罪種類では、窃盗犯、粗暴犯が減少したことによるものです。防犯世帯訪問、通勤通学者への注意喚起、各スーパーでの犯罪未然防止等の啓発活動により、市民の防犯意識が向上したことが要因と考えます	 <table><caption>犯罪発生件数（件）</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>53.8</td></tr><tr><td>H27</td><td>43.5</td></tr><tr><td>H28</td><td>38.5</td></tr><tr><td>H32</td><td>46.9</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	H26	53.8	H27	43.5	H28	38.5	H32	46.9
年度	実績値														
H26	53.8														
H27	43.5														
H28	38.5														
H32	46.9														
						 (達成)									

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 防犯意識の高揚

指標	自主防犯団体の延べ活動従事者数（人）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】	7,166	7,664	9,190	13,000	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は9,190人で、平成27年度より1,526人増加しており、総合計画基準値との比較では、2,024人増加で順調です。 (原因) 新規団体の設立及び既存団体の活動が活発化していると考えます。					☀ (向上)
						目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 防犯設備の整備充実

指標	防犯灯のLED化実施率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】	2	8.9	13	30	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は13%で、平成27年度より約4%増加しています。 (原因) 蛍光灯防犯灯器具の生産中止がありましたが、LED防犯灯補助金制度によるLED化の促進が奏功し、積極的に自治会が交換したことが要因と考えます。					☀ (向上)
						目標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 消費者に対する防犯対策の推進

指標	市消費者相談窓口への消費生活に係る犯罪と疑われる事案の相談件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	10	22	18		
評価	本指標は成果ではなく活動推移を見るものです。					(比較不可)
	(状況) 平成28年度は18件で、平成27年度より4件減少、総合計画基準値より8件増加で推移しています。 (原因) 18件の内訳は、架空請求が12件、ワンクリック請求が6件となっています。					(比較不可)
評価						目標 達成度 (---)

基本事業04 青少年の健全育成

指標	少年の年間犯罪・補導件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	14	14	3	➡	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は3件で、平成27年度及び総合計画基準値より11件減少し、成果が向上しています。 (原因) 窃盗と万引きの件数が減少しました。愛の呼びかけ巡回時の声かけ・呼びかけ件数の増加やきめ細かな活動の成果が表れていると思われます。					☀ (向上)
						目標 達成度 ■■■ (達成)

政策 01 安全・安心な暮らしの実現

施策 08 交通安全対策の推進

あるべき姿

交通事故が少なくなり、死傷者数が減少しています。

■施策の成果状況と評価

指標 ①	人口1万人当たりの交通事故発生件数（件） 【危機管理課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
		26	22.3	16.3	22.3	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は16.3件で、平成27年度と比較すると6件減少している状況です。 (原因) 車両相互による出会い頭事故が平成27年度は31件発生していましたが、平成28年度は8件と23件減少しています。	(件)				☀ (向上)
		目 標 達 成 度 (達成)				☀ (向上)
指標 ②	交通事故負傷者数（人） 【危機管理課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
		137	124	95	124	☀ (向上)
評価	指標値は1～12月の暦年でカウント (状況) 平成28年は95人で、平成27年より29人、総合計画基準値より42人減少し、目標値に達している状況です。 (原因) 阿賀野警察署や阿賀野市交通安全協会等関係機関と連携し、歩行者・自転車利用者の交通安全指導、後部座席を含めたシートベルト着用の徹底等と呼びかけてきたことで、負傷者数が減少したと思われます。 交差点事故により平成26年は72人負傷していましたが、平成28年は44人と28人減少しています。	(人)				☀ (向上)
		目 標 達 成 度 (達成)				☀ (向上)
指標 ③	交通事故死者数（人） 【危機管理課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
		2	6	0	0	☀ (向上)
評価	指標値は1～12月の暦年でカウント (状況) 平成28年は60年ぶりに交通死亡事故「0」となり、目標を達成している状況です。 (原因) 平成27年の6件の死者は高齢者でした。通年実施してきた市内の幼児、小中学生、高齢者を中心とした教室や講話会などを通して、交通事故への注意喚起に努めたことによるものだと思います。	(人)				☀ (向上)
		目 標 達 成 度 (達成)				☀ (向上)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 交通安全意識の高揚

指標	交通安全のため実践している事項数（平均）（項目）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】		6.24	6.11	9	☁ (横ばい)
評価	全11項目での平均実施項目（基準値は平成27年度取得）	(項目)				
	（状況）平成28年度は6.11項目で、前回調査より0.13項目（2.1％）の低下です。市民アンケートにより実施項目を把握していますが、2.1％は統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 （原因）実施項目のうち、「運転席・助手席のシートベルト着用」など90％を超える項目がある一方、「夜間の反射材利用」など40％に届いていない項目が4項目あります。道路の横断に横断歩道を利用する、青信号でも左右を確認することは年齢が上がるほど割合が増えています。一時停止の順守（81.3％）と飲酒運転をしないさせない（74.4％）ことについてはさらに数値を上げていく必要があります。	対前年度: ☁ (横ばい) 目標達成度: ■■■ (低)				

基本事業01 交通安全意識の高揚

指標	市民が第1当事者となった事故件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】	134	96	92	➡	☀ (向上)
評価	指標値は1～12月の暦年でカウント	(件)				
	（状況）平成28年は92件で、平成27年より4件減少、総合計画基準値より42件減少しており、市民が加害者（第1当事者）となる事故は減少しています。 （原因）高齢者が関係している事故や交差点で発生している事故などが、総合計画開始時と比べ減少しています。日頃の交通安全運動に加え、高齢者免許返納制度の推進等も交通事故の第1当事者となることを防ぐ要因になっているものと考えます。	対前年度: ☀ (向上) 目標達成度: ☀ (達成)				

基本事業02 交通安全施設の整備充実

指標	交通安全施設の新規整備率（平成28～32年度の整備計画）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【危機管理課】	83.2	81.5	75.7	90	☂ (低下)
評価		(％)				
	（状況）平成24年度から28年度までの交通安全施設（道路反射鏡）の要望箇所数は148箇所、うち要望対応した整備箇所数は112箇所で75.7％となっています。 （原因）平成28年度以前の要望箇所対応が多いのに加え、28年度単年度で18件の新設要望が上がったため、限りある予算での整備が要望に追いついていないのが現状です。	対前年度: ☂ (低下) 目標達成度: ■■■ (低)				

政策 02 子どもの育成支援の充実

施策 01 子育て環境の充実

あるべき姿

産む・育む等の子育て環境が整い、子どもたちがたくさん暮らすまちになっています。

■施策の成果状況と評価

指標 ①	子育てしやすい環境になっていると感じる市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		79.6	71.6	80	☂ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☂ (低下)
	(状況) 平成28年度は71.6%で、前回調査より8.0ポイント低下しており、順調とは言えない状況です。 (原因) 男女別では、男性は女性より4.8%高く、年代別では、40歳代が62.8%と最も高くなっていますが、前回調査より7ポイント低下しています。20代30代は前回と変化はありません。また地区別では、笹神地区が48%と他の3地区よりも低くなっています。 公園等子どもたちが遊ぶ場所、公共交通機関、商業施設等が少ないと感じている保護者が多く、子育て環境の充実を望む意見が多いことが考えられます。					■ ■ ■ (低)
指標 ②	この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		95.1	94.8	100	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☁ (横ばい)
	(状況) 平成28年度は94.8%で、平成27年度より0.3ポイント低下していますが、市民アンケートの指標であることから、統計誤差の範囲で横ばいと判定しました。 (原因) 年齢別では3～4か月児では92.9%、1歳6か月児では95.9%、3歳児では95.7%となっています。 この地域で子育てをしたいと感じる保護者の割合が高い要因として、子ども医療費助成の対象児童の拡大や子育てと就労の両立を支援するための病児保育室、子育て支援センターにこの事業開始等、子育て支援を充実させてきたことが考えられます。					■ ■ ■ (低)
指標 ③	0～15歳未満の人口 (人)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策課】	5,219	5,064	4,939	4,775	☂ (低下)
評価						☂ (低下)
	(状況) 平成28年度は4,939人で、平成27年度より125人減少、総合計画基準値からは280人減少となっています。想定よりも減少幅が大きくなっています。 (原因) 平成27年度に14歳であった401人が抜け、平成28年度は0歳が263人であったことから、出生数の差が減少の原因です。出生数が400人程度ないと減少傾向が数年続く可能性が高くなっています。					■ ■ ■ (達成)
指標 ④	合計特殊出生率 (人)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策課】	1.16	1.27	1.34	1.53	☀ (向上)
評価						☀ (向上)
	(状況) 平成28年度の速報値は1.34であり、平成27年度との比較では0.07、総合計画基準値からは0.18改善しており、復調の兆しが見られます。 (原因) 平成28年度出生数は270人であり、平成27年度の260人より10人増加、平成26年度の248人より22人増加したこと、15～49歳までの女性人口が減少し、統計上増加したことが原因です。					■ ■ ■ (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 未就学児・保護者の交流と不安軽減

指標	子どもを遊ばせる場所が十分にあると感じる保護者の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】			49.6	55.0	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(％)				対 前年度
	(状況) 平成28年度は49.6%となっており、初めての指標値取得のため経年比較はできません。 (原因) 3～4か月児では53.6%、1歳6か月児では52.6%、3歳児では42.4%となっています。年齢が大きくなるにつれ、低下する傾向が見られます。外遊びや運動をさせる場所が少ないことが原因と推測されます。					(比較不可) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業01 未就学児・保護者の交流と不安軽減

指標	育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】		87.0	71.1	90.0	☔ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	(状況) 平成28年度は71.1%で、平成27年度と比較して15.9ポイント低下しており、順調とはいえない状況です。ただし、アンケート無回答者を除いた数値では、平成28年度は79.7%で、平成27年度の87.0%より7.3ポイントの低下となっています。 (原因) 健診ごとに見ると4か月児で前年より27%低下しています。子育てを開始して間もないため相談先などが十分に周知されていないことが考えられます。					☔ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)

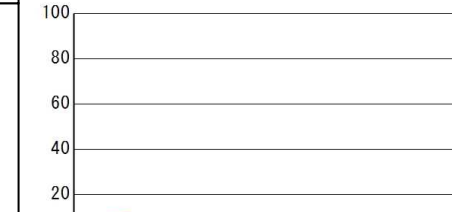
基本事業01 未就学児・保護者の交流と不安軽減

指標	子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【健康推進課】		85.3	88.0	90.0	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	(状況) 平成28年度は88.0%で、平成27年度より2.7ポイント向上しており、順調と考えます。 (原因) 年齢別では4か月児で88.9%、1歳6か月児94.5%、3歳児81.9%となっています。各健診の講話や個別指導時に発達過程を説明していることが、僅かずつでも指標の増加に結びついたと考えます。					☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (中)

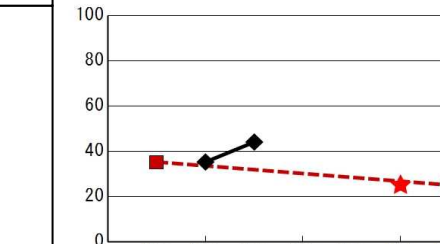
基本事業02 多様な保育サービスの充実

指標	特別保育の受入れができなかった人数（人）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	28	27	32	20	☔ (低下)
評価		(人)				対 前年度
	(状況) 平成28年度は、32件受入れができませんでした。27年度より5件、基準値より4件増加しています。内訳は未満児保育14件、一時保育17件、病児保育1件です。ただし、最終的に市で受入れ先の保育施設を決定する未満児保育事業については、年度当初の段階で受入れできなかったものはありません。 (原因) 慢性的な保育士不足により、年度途中における受入れが困難になっていることや一時保育については、園行事と重なるような場合、受入れできないこともあります。病児保育については、あがの市民病院の医師が不在の日に利用を希望したことによるものです。					☔ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 多様な保育サービスの充実

指標	この1年間に子どもを預かってもらえないことがあった保護者の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【社会福祉課】		7.4	7.1	0	 (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				
	(状況) 平成28年度は7.1%で、前回調査より0.3ポイント増加していますが、市民アンケートのため統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因) 預かり先の一番は親族で約8割となっています。親族に預けることができない1割強の方が平日の一時預かりを園独自のサービスの休日(土・日曜)預り、あがの子育て支援センターにこにこを利用しています。親族は近くにおらず、預け先を知らないこと等が原因と考えられます。					
		対前年度				
		 (横ばい)				
		目標達成度				
		 (低)				

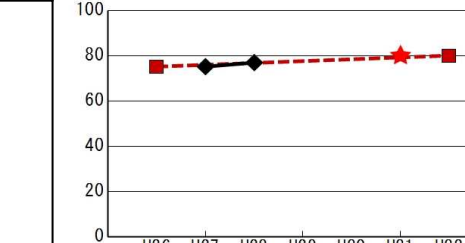
基本事業03 放課後の多様な過ごし方の提供

指標	放課後の子どもの過ごし方に不満を持っていたり、困っている保護者の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値	
	【社会福祉課】		35.2	44.0	25	☔ (低下)	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)					対前年度
	(状況) 平成28年度は44.0%で、前回調査より8.8ポイント悪化し、全体の4割弱が、放課後の子どもの過ごし方に何らかの不満を持っている状況です。 (原因) アンケートの不満理由(複数回答)の上位は、子どもの遊び場が少ないこと59.6%、塾や習い事をする場所が遠くて、子どもだけで通えないが54.4%、遊ぶ場所がない及び塾や習い事の種類が少ないが3割となっています。						☔ (低下)
							目標達成度
							■■■ (低)

基本事業04 母子の健やかな成長の支援

指標	乳幼児健診平均受診率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																
	【健康推進課】	97.9	97.4	98.5	100																	
評価	（状況）平成28年度は98.5％で、平成27年度より1.1ポイント向上、総合計画基準値との比較では0.6ポイント向上しており、経年で見ても98％前後の受診率で推移しています。平成27年度の全国平均は、1歳6か月健診95.7％、県平均は98.4％となっています。 （原因）健診対象者に個別通知での郵送案内を開始したことが成果に結びついたと考えられます。各健診の受診率の内訳は、4か月健診98.9％、10か月健診95.3％、1歳6か月健診99.6％、3歳児健診100％となっています。	（％） <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>97.9</td></tr><tr><td>H27</td><td>97.4</td></tr><tr><td>H28</td><td>98.5</td></tr><tr><td>H29</td><td>98.5</td></tr><tr><td>H30</td><td>98.5</td></tr><tr><td>H31</td><td>98.5</td></tr><tr><td>H32</td><td>100</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	H26	97.9	H27	97.4	H28	98.5	H29	98.5	H30	98.5	H31	98.5	H32	100	（横ばい）
		年度	実績値																			
H26	97.9																					
H27	97.4																					
H28	98.5																					
H29	98.5																					
H30	98.5																					
H31	98.5																					
H32	100																					
						対 前年度																
						（横ばい）																
						目 標 達成度																
						（低）																

基本事業05 地域子育て力の向上

指標	近所の子どもにあいさつなど声かけを行っている市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		75.1	76.9	80	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				(横ばい)
	（状況）平成28年度は76.9％で、前回調査より1.8ポイント増加していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 （原因）アンケートの結果、近所の子どもにあいさつなど声かけを行っている市民の割合は、男性より女性の方が7.1％多く、年代別では、20歳代は35.2％と低いものの、30歳代以上ではほぼ半数以上が声かけを行っています。 子育て世代に限らず、50歳代以上が、地域で交通安全運動期間中や防犯活動、登下校時の安全安心見守り活動等において、率先して子どもに声かけやあいさつを行っていることが、市民に浸透してきているものと考えます。					対 前年度  (向上) 目 標 達成度  (低)

基本事業05 地域子育て力の向上

指標	この1年間に子育て行事に参加したことがある市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】		37.9	38.2	38	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）平成28年度は38.2％で、前回調査より0.3ポイント向上し、目標を達成している状況です。 （原因）アンケートの結果、子ども会行事等に参加したことがある市民の割合は、男性より女性の方が8.9％多く、年代別では20歳代は20.1％と低いものの、30歳40歳代の子育て世代では9割以上が行事等に参加しています。子育て世代に限らず、50歳代以上においても、町内会行事や防犯パトロールに参加する割合が高くなっていることが増加の要因と考えられます。					☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業06 保護者負担の軽減

指標	3人目以降の保育料の無料化（千円）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】			8,624	➔	☀ (向上)
評価	表は、軽減している保育料の合計額	(千円)				対 前年度
	（状況）平成28年度4月から3人目以降の保育料の無料化を行い、対象者49人、年額8,624千円の保育料を軽減することにより、保護者の経済的負担を減らすことができました。 （原因）年収500万円以下の世帯については、子どもの年齢に関わらず第3子以降の保育料を無料とし、国の基準に上乗せして、軽減を図ったことによるものです。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業06 保護者負担の軽減

指標	子どもが2人以下の世帯への医療費の助成（千円）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】			16,063	➔	☀ (向上)
評価	表は、助成した医療費の合計額	(千円)				対 前年度
	（状況）平成28年度より子どもの人数にかかわらず高校卒業まで子ども医療費助成の対象としたことにより、目標を達成しました。現在、県内では高校卒業以上に拡大しているところはありません。 （原因）高校卒業まで助成を拡大したことにより、保護者の負担軽減を図ることができました。					☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業07 結婚意識の向上

指標	婚姻率（人口千人当たり）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策課】	3.6	3.8	3.9	4.4	☀ (向上)
評価		(％)				対 前年度
	（状況）平成28年度の速報値は3.9％、平成27年度と比較して0.1ポイント向上、総合計画基準値から0.3ポイント向上しました。県平均の4.1％よりも下回っております。 （原因）平成28年度の婚姻数169件で、平成27年度の167件より2件増加したことが原因です。市主催の出会いイベントは平成28年10月から開催しており、成立カップルが成婚したかは今後把握する予定です。					☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

政策 02 子どもの育成支援の充実

施策 02 学校教育の充実

あるべき姿

子どもたちが魅力ある学校で楽しく学ぶことにより、生きる力が育まれています。

■施策の成果状況と評価

指標①	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点（児童）（点） 【学校教育課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
		99	99	100	101	☀ (向上)
評価	6年生全員の結果となります。	(点)				☀ (向上)
	（状況）平成28年度は100点で、平成27年度より1点向上、総合計画基準値との比較でも1点向上しています。標準化得点100点というのは、平均点に近い考え方であり、阿賀野市の児童学力は県内平均と同じと考えます。 （原因）算数で得点の向上が見られましたが、国語は昨年と変化が見られなかったことが要因です。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (中)

指標②	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点（生徒）（点） 【学校教育課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
		98	98	99	101	☀ (向上)
評価	3年生全員の結果となります。	(点)				☀ (向上)
	（状況）平成28年度は99点で、平成27年度より1点向上、総合計画基準値との比較でも1点向上しています。標準化得点100点に一歩近づき、阿賀野市の生徒学力向上は上向きに転じています。 （原因）国語の一部で同値でしたが、その他の国語、数学で検査数値の上昇が見られます。授業改善が進んでいることが要因です。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)

指標③	学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合（児童）（％） 【学校教育課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
		89.4	90.4	91.5	95	☀ (向上)
評価	6年生全員の結果となります。	(％)				☀ (向上)
	（状況）平成28年度は91.5%で、平成27年度より1.1ポイント向上、総合計画基準値との比較では2.1ポイント向上しています。新潟県平均は88.6%であり、順調に推移しています。 （原因）知育、徳育、体育の総合的な充実が児童の満足状況向上の要因と考えられます。					☀ (向上)
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)

指標④	学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合（生徒）（％） 【学校教育課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
		84.9	85.1	82.2	90	☔ (低下)
評価	3年生全員の結果となります。	(％)				☔ (低下)
	（状況）平成28年度は82.2%で、平成27年度より3.9ポイント低下、総合計画基準値との比較では2.7ポイント低下しています。 （原因）わかりやすい授業を展開したり、主体的な学びの力を伸ばす取組が順調に進んだりしている学校がある一方、これらの取組が順調に進まない学校もあることが要因と考えられます。					☔ (低下)
						目 標 達 成 度 ■■■ (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 確かな学力の向上

指標	授業が分かる児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	81	86.2	86.0	85	☀ (向上)
評価	6年生全員の結果となります。					☀ (向上)
	（状況）平成28年度は86.0%で、平成27年度より0.2ポイント低下、総合計画基準値より5.0ポイント向上しており、目標を達成している状況です。 （原因）国語科は89.8%で、総合計画基準値より8.8ポイント向上しています。算数科は82.1%で、総合計画基準値81%を上回っています。 国語と算数については、平成27年度より全市的な授業改善プロジェクトを立ち上げ、授業方法を改善した結果の一端と思われます。					☁ (横ばい)
						☀ (達成)

基本事業01 確かな学力の向上

指標	授業が分かる児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	78.3	74.1	72.8	80	☔ (低下)
評価	3年生全員の結果となります。					☔ (低下)
	（状況）平成28年度は72.8%で、平成27年度より1.3ポイント低下、総合計画基準値より5.5ポイント低下しました。 （原因）国語科は74.2%で、総合計画基準値より4.1ポイント低下しています。数学科は71.4%で、総合計画基準値より6.9ポイント低下しています。 発展的、応用的で活用力を促すような授業を取り入れていることが影響して低下する要因となっていると思われます。					☁ (横ばい)
						■ ■ ■ (低)

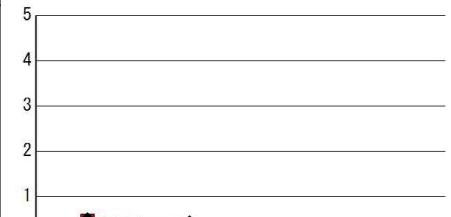
基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	64.5	65.5	71.2	70	☀ (向上)
評価	5年生全員の結果となります。					☀ (向上)
	（状況）平成28年度は71.2%で、平成27年度より5.7ポイント向上、総合計画基準値より6.7ポイントの大幅向上で目標を達成している状況です。 （原因）学校毎に重点項目を定め、問題点を洗い出し分析して改善や向上を目指す1学校1取組が影響して、成績向上につながっているものと思われます。 なお、種目別で県平均との比較で高いものは、男子は全種目、女子では50m走、立ち幅跳びで、男子は低い種目はありません。女子で低いものは、ハンドボール投げなどです。					☀ (達成)

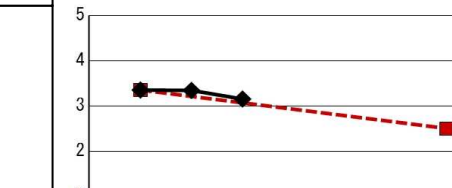
基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	53.7	52.1	51.1	60	☁ (横ばい)
評価	2年生全員の結果となります。					☁ (横ばい)
	（状況）平成28年度は51.1%で、平成27年度より1ポイント低下、総合計画基準値より2.6ポイント低下しました。 （原因）男子は、全国4位相当の運動能力を有しています。しかし、女子の運動に関する意識が低く、全ての結果で全国平均を下回りました。その結果、運動能力では全国平均に比べて低位となってしまいました。					■ ■ ■ (低)

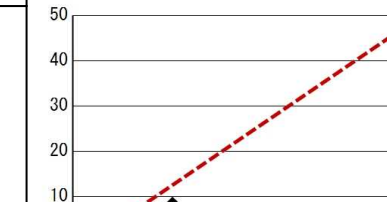
基本事業02 こころとからだの健全育成

指標	不登校率（児童）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																	
	【学校教育課】	0.46	0.33	0.39	0.3	 (向上)																	
評価	（状況）平成28年度は0.39%で、平成27年度より0.06ポイント高くなりましたが、総合計画基準値との比較では0.07ポイント改善しています。新潟県平均（平成27年度）は0.4%であり、改善傾向にあります。	(％)  <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>0.46</td></tr><tr><td>H27</td><td>0.33</td></tr><tr><td>H28</td><td>0.39</td></tr><tr><td>H29</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>0.3</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	H26	0.46	H27	0.33	H28	0.39	H29	-	H30	-	H31	-	H32	0.3	対 前年度
	年度						実績値																
H26	0.46																						
H27	0.33																						
H28	0.39																						
H29	-																						
H30	-																						
H31	-																						
H32	0.3																						
	（原因）県の指針に従い、個人の状態や事由に応じたきめ細かな指導をした不登校に陥らないような対応を強化しています。また適応教室の活用も行っています。						 (低下)																
							目 標 達成度																
							 (低)																

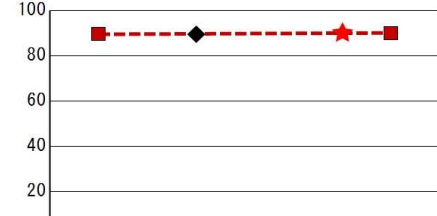
基本事業02 こころとからだの健全育成

不登校率（生徒）（％）		実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値	
指標	【学校教育課】	3.35	3.34	3.15	2.5	☀ (向上)	
		(％)					☀ (向上)
評価	（状況）平成28年度は3.15%で、平成27年度より0.19ポイント低くなり、総合計画基準値との比較では0.2ポイント改善しています。新潟県平均（平成27年度）は2.67%であり、県平均にはまだ及ばないものの、改善傾向にあります。						対 前年度
	（原因）県の指針に従い、個人の状態や事由に応じたきめ細かな指導をし、不登校に陥らないような対応をとり、また長期化しないように努めています。また適応教室の活用も行っています。						☀ (向上)
							目 標 達成度
							■■■ (低)

基本事業03 教育環境の充実

指標	心地よい学校生活を送るための施設・備品改善件数（計画期間内累計）（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																	
		5	8	5	50	 (横ばい)																	
評価	平成27年度以前は単年の実績値	(件)  <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>5</td></tr><tr><td>H27</td><td>8</td></tr><tr><td>H28</td><td>5</td></tr><tr><td>H29</td><td>-</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td></tr><tr><td>H32</td><td>50</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	H26	5	H27	8	H28	5	H29	-	H30	-	H31	-	H32	50	対 前年度
	年度						実績値																
H26	5																						
H27	8																						
H28	5																						
H29	-																						
H30	-																						
H31	-																						
H32	50																						
	(状況) 平成28年度は、5件の整備を行いました。平成27年度より3件減少しています。 (原因) 5件の内訳は、施設系が3件、教材系が2件となっています。	 (横ばい)	目 標 達 成 度																				
		 (低)																					

基本事業04 安全な学校生活・通学環境の確保

指標	通学環境に関する満足度（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値	
	【学校教育課】			89.4	90.0	 (横ばい)	
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(％) 					対 前年度
	(状況) 目標値に近い水準となっています。 (原因) 通学路の設定や通学バスの運行が概ね適切であるためと考えられます。						(比較不可)
		目 標 達 成 度					
		 (低)					

基本事業05 学校・家庭・地域の協働体制の推進

指標	地域等と連携した特色ある教育活動の支援者数（人）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	2,124	2,060	2,303	2,500	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は2,303人で、平成27年度より243人増加、総合計画基準値より177人増加しており、順調に推移しています。 (原因) 主な内訳としては、学習ボランティア595人、行事支援1708人となっています。ほとんどの学校で昨年並みの活動が行われたのに加え、閉校を迎えた学校で連携事業への支援者が増えたため増加しています。					☀ (向上)
		(人)				目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業06 経済的負担の軽減

指標	就学援助対象項目（項目）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	416	404	471		
評価	表とグラフは、就学援助対象人数を記載しています。 (状況) 平成28年度は10項目の支援を行っています（すべて国の基準に準じたもの）。現在それらのいずれかを利用している児童生徒数は471人です。					☀ (向上)
		(項目)				目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合（児童）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】			95.8	97.0	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値 (状況) 平成28年度に初めて取得した数値で、95.8%という高い数値になっています。 (原因) アンケートの選択肢別では、「大好き」62.3%、「まあまあ好き」33.5%、「あまり好きではない」2.7%、「嫌い」0.6%、無回答0.9%という状況になっています。地域に密着した学校活動が展開されているためと考えられます。					☀ (向上)
		(％)				目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業07 故郷への愛着意識の醸成

指標	阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合（生徒）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】			88.7	90.0	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値 (状況) 平成28年度に初めて取得した数値で、88.7%という高い数値になっています。 (原因) アンケートの選択肢別では、「大好き」22.6%、「まあまあ好き」66.1%、「あまり好きではない」8.0%、「嫌い」2.4%、無回答0.9%という状況になっています。地域に密着した学校活動が展開されているためと考えられます。					☀ (向上)
		(％)				目 標 達成度 ■■■ (低)

政策 03 高齢者や障がい者福祉の充実

施策 01 高齢者福祉の充実

あるべき姿

住み慣れた地域で、可能な限り自立した生活を送っています。

■施策の成果状況と評価

指標①	元気で介護状態にならずに生活している高齢者の割合 (%) 【高齢福祉課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
		79.3	79.8	79.6	79.3	(横ばい)
評 価	(状況) 平成28年度は79.6%で、平成27年度より0.2ポイント低下、総合計画基準値より0.3ポイント向上で、ほぼ横ばいの状況ですが、目標値は達成している状況です。 (原因) 介護予防の取組みにより、要介護・要支援を受けていない人は10,587人、前年度比125人の増でしたが、分母となる第1号被保険者数が13,298人、前年度比194人の増であったことが原因です。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達成度
						(達成)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 医療介護の連携

指標	介護保険利用者における医療と介護連携の満足度 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【高齢福祉課】		67.2	68.0	75	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対前年度
	(状況)平成28年度は68.0%で、前回調査より0.8ポイント増加していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因)年代別にみると、20～40代は50～60%ですが、65歳以上の年代では70%以上と高くなっており、受益者の方の満足度が高くなっています。ケアマネジャーのケアプラン作成時の医療と介護の連携支援、あがの市民病院の地域医療・介護連携センターの設置等が考えられます。					目標達成度 (低)

基本事業02 認知症施策の推進

指標	認知症の人の在宅割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【高齢福祉課】	61.2	58.3	59.9	63	(横ばい)
評価	(状況)平成28年度の要介護認定Ⅱa以上の人の在宅割合は59.9%で、平成27年度より1.6ポイント増加、総合計画基準値より1.3ポイント低下しており、横ばいの状況です。 (原因)市内に特別養護老人ホーム等の入所施設が増えたことや、単身高齢者世帯の増加、高齢者世帯の増加による老老介護等による介護者負担の大きさや地域の理解や協力が得られず、施設を希望する状況が要因と思われます。	(%)				対前年度
						目標達成度 (低)

基本事業02 認知症施策の推進

指標	認知症を正しく理解している市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【高齢福祉課】		72.8	72.5	75	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対前年度
	(状況)平成28年度は72.5%で、前回調査より0.3ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいの状況が続いています。 (原因)40代より若い層での理解度が低くなっており、親の介護が現実化する世代では一定の認識があります。 平成28年度は認知症相談支援ガイドを全戸配布並びに広報で認知症の特集を掲載、また認知症サポーター養成講座並びに認知症予防講演会も開催していますが、興味のある方しか参加、読まれていないことが向上しない原因です。					目標達成度 (低)

基本事業02 認知症施策の推進

指標	認知症の人に声をかけられる市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【高齢福祉課】		63.7	63.2	65	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対前年度
	(状況)平成28年度は63.2%で、前回の調査より0.5ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいの状況が続いています。 (原因)性別では男性が低く、年齢別では20～30代は50%前後、40～50代が60%前後、60～74歳までが70%前後となっており、若年層が低い傾向です。身近に認知症等の知り合いがある場合には高くなりますが、実際に接したことがない方(若年層)は認知症患者がわからない等も影響していると思われます。					目標達成度 (低)

基本事業03 日常生活の支援

指標	市で実施している買物支援や家事支援等の生活支援メニュー利用者数 (人)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	0	71	86	100	
評価	(状況) 平成28年度は86人で、平成27年度より15人増加、総合計画基準値から86名増加となっております。 (原因) 現在は介護保険給付メニューであり、利用内容としては掃除、買い物、調理が殆どを占めています。高齢化率の上昇に伴い単身高齢世帯や高齢世帯も増え、生活支援ニーズが増加しています。					(比較不可)
						対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度
						(---)

基本事業03 日常生活の支援

指標	ボランティア・NPO法人等が実施している買物支援や家事支援等の生活支援メニュー数 (メニュー)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	1	1	1	5	
評価	(状況) 平成28年度現在1メニューで総合計画開始以降増加しておらず、横ばいです。 (原因) 現在の1メニューは買い物支援となっています。生活支援サービス構築のための活動は生活支援協議体、生活支援コーディネーターと活動の進め方の協議が主体であったため、活動開始にまで至っていない状況です。今後、活動予定です。					(横ばい)
						対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

基本事業03 日常生活の支援

指標	外出時の移動に困っている高齢者の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】		9.6	10.6	8	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	(状況) 平成28年度は10.6%で、前回調査より1.0ポイント増えましたが、統計誤差の範囲であり横ばいと考えます。 (原因) 75歳以上になると困っている方が増加していく傾向がみられます。バス等の公共交通の本数及び停留所までの距離が影響していると考えられます。高齢化率は上昇し、移動手段に困る高齢者の増加が予測されますが、指標値の推移から自助努力によって移動している高齢者が多いことが考えられます。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

基本事業03 日常生活の支援

指標	買物に困っている高齢者の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】		5.1	6.9	5	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	(状況) 平成28年度は6.9%で、前回調査より1.8ポイント増加していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因) 移動手段がなく買い物に困っている、徒歩で歩ける距離に買い物をする場所がない、重い荷物を持って帰れない等が一般的に考えられます。買い物サービスを行っているNPO団体、スーパーを利用している高齢者は約12人ですが、地区限定、お得意様が現状です。今後、高齢化率は上昇し、移動手段に困ることで買い物にも支障をきたす高齢者の増加が予測されますが、指標値の推移から自助努力によって買い物をしている高齢者が多いことが考えられます。					対 前年度
						(横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

基本事業04 介護予防・社会参加の推進

指標	要支援認定の新規該当者の平均年齢（歳）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	81.3	81.7	80.7	82.3	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は80.7歳で、平成27年度より1歳若くなっています。総合計画基準値との比較では0.6歳若くなりつつあります。 (原因) 新規認定者は、5年前は487名、平成28年度は489名で横ばいですが、新規認定者に占める要支援割合は、5年前の25.7%から44.0%と大幅に増加しています。 近年、介護予防や介護保険制度の認知度向上で、介護予防的なサービス利用のために、要支援認定を受ける方が増加しており、平均年齢が下がったことが原因です。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業04 介護予防・社会参加の推進

指標	社会参加・交流している高齢者の割合(サロン、老人クラブ) (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】		35.4	34.5	40	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成28年度は34.5%で、前回調査より0.9ポイント減少していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因) 地区別では、安田地区は就労している高齢者も多く41%と高くなっています。笹神地区は26.4%と低くなっています。 地域のサロン参加者や、ボランティアも高齢化しており、地域によってはサロンが運営できなくなっている地域もあります。参加者も固定化しており、新規参加者がなかなか参加につながらない状況もあります。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業05 介護サービスの質と量の充実

指標	介護サービスの満足度 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】		51.7	51.4	62	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成28年度は51.4%で、前回調査より0.3ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因) 「介護職員等の対応」の不満は9.3ポイント下がっていますが、「サービス内容」の不満が3.1ポイント上がっています。このため、ほぼ横ばいとなりました。 「料金」の不満は前年度と同じ62.8ポイントと依然として一番高い不満となっていますが、国が示す介護報酬が適用されているため、改善にはなかなか結びつきません。					対 前年度 ☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業05 介護サービスの質と量の充実

指標	入所待機者数(要介護度3以上) (人)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】		261	70	50	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成25年度の値 (状況) 平成28年度は70名で、平成27年度より191名の大幅減少となっています。 (原因) 平成27年度に100床、平成28年度に70床の特別養護老人ホームが市内に開設されたことにより、一時的に入所待機者が減ったものです。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (高)

政策 03 高齢者や障がい者福祉の充実

施策 02 障がい者福祉の充実

あるべき姿

障がい者がその障害の特性及び環境に応じて、地域で安心して自立し社会参加しています。

■施策の成果状況と評価

指標①	在宅で生活している障がい者の割合（％） 【社会福祉課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
		97	97.1	97.0	97.2	(横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は97.0%で、平成27年度より0.1ポイント低下、総合計画基準値と同値で、横ばいです。 (原因) 障害者手帳所持者は昨年度から18人減り、2,388人となり、そのうち2,317人が在宅で生活しています。 新たな入所者や退所者もありましたが、入所者が2名増え71名となったことが要因と考えられます。					対 前年度 (横ばい)
						目 標 達成度 (低)

指標②	在宅で安心して生活できていると感じる障がい者の割合（％） 【社会福祉課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
				77.6	85.0	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値 (状況) 今回初めて指標を取得しました。アンケートの結果77.6%の障がい者が、在宅で安心して生活できていると感じています。 (原因) 0歳から18歳未満が60%、18歳から20歳未満が50%と低くなっているのに対し、30歳から40歳未満は80.7%、20歳から65歳以上の平均は76.9%と高いなど、年齢層によって差が生じています。 若年層が低くなっている原因は、通所や短期入所のサービスが不足していると感じている障がい者が多いことが要因と考えられます。					対 前年度 (比較不可)
						目 標 達成度 (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 障がい者への適切な支援

指標	障がいの特性や能力に応じて適切なサービスを受けられていると感じる障がい者の割合（％） 【社会福祉課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
				78.4	85.0	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）今回初めて指標を取得しました。アンケートの結果78.4%の障がい者が、障がいの特性や能力に応じて適切なサービスを受けられていると感じています。 （原因）18歳から20歳未満が50%と一番低く、20歳以上から徐々に割合が高くなり、65歳以上が83.5%と一番高い割合となっています。 20歳未満の割合が低くなっている要因は、短期入所の施設不足や同じ施設で複数のサービスが利用できる複合型の施設が市内にないためと考えられます。					（比較不可） 目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

指標	住み慣れた地域で生活を送ることができていると感じる障がい者の割合（％） 【社会福祉課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
				91.2	93.0	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）今回初めて指標を取得しました。アンケートの結果91.2%の障がい者が、住み慣れた地域で生活を送ることができていると感じています。 （原因）30歳から40歳未満が84.5%と一番低く、18歳から20歳未満は100%と一番高くなっています。30歳から40歳未満が低い要因としては、公共交通機関の不足や買い物の利便性がよくないことが原因と考えられます。					（比較不可） 目 標 達 成 度 ■■■ (低)

基本事業02 地域生活支援の基盤づくり

指標	地域生活支援事業の利用者数（人） 【社会福祉課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
		2,687	2,507	2,494	2,900	(比較不可)
評価	（状況）平成28年度は2,494人で、平成27年度より13人減少、総合計画基準値との比較では193人減少となっています。 （原因）移動支援事業や日中一時支援事業などは増加していますが、地域活動支援センターの利用者が年々減少していることが要因と考えられます。 地域活動支援センターの利用者数が減少しているのは、センターを利用したことで社会参加が進み就労訓練が受けられる障害福祉サービスの利用を開始したことや、新規利用者がいなかったことが原因です。					対 前年度 (比較不可) 目 標 達 成 度 (---)

基本事業03 社会参加の促進

指標	就労訓練施設から就職し、1年以上働き続けている障がい者数（人） 【社会福祉課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
		9	15	10	15	☀ (向上)
評価	（状況）平成28年度は10名で、平成27年度より5人減少、総合計画基準値との比較では1名増加となっており、横ばいから微減の状況ですが、就労訓練を受けることができる事業所も増え、就職した障がい者も年々増えています。 （原因）就職した障がい者が、仕事や人間関係が上手くいかず、体調を崩すなどして安定した就労ができなかった結果退職したり、会社の倒産などやむを得ず離職したことが要因です。					対 前年度 (低下) 目 標 達 成 度 ■■■ (低)

政策 04 地域経済の活性化

施策 01 農業の振興

あるべき姿

農産物の作付面積や生産規模が維持され、安定経営、付加価値化により農業所得が増えています。

■施策の成果状況と評価

指標①	農産物の作付面積 (ha)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【農林課】	6,145	6,135	6,125	6,090	(横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は6,125haで、平成27年度より10ha減少し、総合計画基準値との比較では20ha減少していますが、現状は目標値の作付面積を維持できています。 県内の30市町村のうち16市町村で、作付面積は減少傾向にあります。 (原因) 耕作条件が悪い水田は受託されておらず、減少した箇所は保全管理面積となっています(105ha)。また、公共用地として水田が買収された面積が約1.5haとなったことが原因です。					(横ばい)
						目標達成度 (達成)

指標②	市内総生産額 (農業) (百万円)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【農林課】	6,003	5,530	4,778	6,500	(低下)
評価	各指標値は2年前の値 (状況) 平成28年度(平成26年度実績)は47.8億円で、平成27年度(平成25年度実績)より7.5億円、総合計画基準値(平成24年度実績)より12.2億円減少しており、順調とはいえません。 県内の30市町村全てで、市内総生産額(農業)は減少傾向にあります。 (原因) 平成26年度に発生した台風(強風)による白穂等の被害による影響と米価の下落によるものです。					(低下)
						目標達成度 (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 担い手の育成と経営規模拡大への支援

指標	1経営体当たり経営面積 (ha)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【農林課】	2.9	3.3	3.3	4.5	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は3.3haで、平成27年度と同値です。総合計画基準値との比較では0.4ha増加し、集積が進んでいます。県内平均は、2.62haになっています。 (原因) 高齢化による離農後の農地を、他の農家が受託したことにより、1経営体あたりの面積が増加していくものです。ただし平成28年度は67haのみの集積だったため、数値上は変化が見られません。					☁ (横ばい)
		(ha)				☀ (向上)

基本事業01 担い手の育成と経営規模拡大への支援

指標	新規就農者数 (平成27～32年度累計) (人)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【農林課】	3	4	8	100	☀ (向上)
評価	基準値は平成26年度単年の実績値 (状況) 平成28年度では8名で、平成27年度より4名増加し、総合計画期間で8名の新規就農がありました。ただし目標値達成に向けては、まだまだ努力が必要です。 (原因) 現在の8名の内訳は、法人への就農者1名、農業後継者2名、新規参入者5名となっており、新規就農への選択肢が広がっていることが考えられます。 平成28年度の増加要因は、法人への就農者1名、新規就農2名、農業後継者1名となっています。					☀ (向上)
		(人)				☀ (向上)

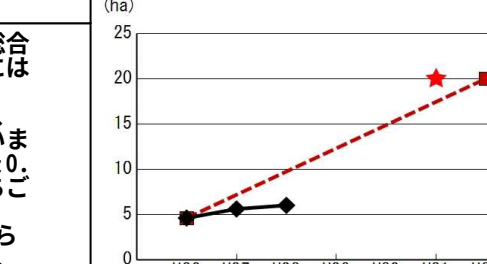
基本事業02 経営の組織化・法人化の推進

指標	農業生産法人数 (水稻主体の法人) (法人)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【農林課】	14	15	17	42	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度現在は17法人で、平成27年度より2団体増加、総合計画基準値より3団体の増加で順調に推移しています。 (原因) 17法人は、水稻主体の法人となっています。平成28年度に設立された2団体は、水原地区で1団体、笹神地区で1団体となっており、離農者の農地の受託にあたって法人化したものです。					☀ (向上)
		(法人)				☀ (向上)

基本事業03 生産基盤の整備

指標	圃場整備率 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【農林課】	9.5	9.5	9.5	11	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成28年度の整備率は9.5%で、総合計画開始時から動きがない状況です。 (原因) モデル5地区のうち、先行3地区は中ノ通が平成29年度着工、堀耕東・滝沢は平成30年度着工。後発2地区の発久・勝屋は平成31年度着工に向け地元調整を含め予定どおり申請等手続きを進めているため、平成28年度は動きがありませんでした。 地元関係者の熱意と、関係機関の推進に対する一体的な取り組みが前倒し1地区(中ノ通)を含めた進捗となっています。					☁ (横ばい)
		(%)				☀ (向上)

基本事業04 産地化・ブランド化の推進

指標	重点5品目の作付面積 (ha)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【農林課】	4.6	5.6	6	20	 (向上)
評価	(状況) 平成28年度は6haで、平成27年度より0.4ha増加、総合計画基準値より1.4ha増加し、進展していますが目標値達成には更なる努力が必要です。 (原因) 5品目の内訳は、いちじく0.9ha、ばれいしょ1.7ha、たまねぎ1.1ha、カリフラワー1.6ha、いちご0.7haとなっています。平成28年度での増減は、いちじく0.1ha増加、ばれいしょ0.6ha増加、たまねぎ0.1ha増加、カリフラワー0.4ha減少、いちごは変化なしとなっています。 米価の低迷もあり、園芸を取り入れた複合営農への関心から増加、カリフラワーは育苗の失敗による減少となっています。					対前年度  (向上) 目標達成度  (低)

政策 04 地域経済の活性化

施策 02 商工業の振興

あるべき姿

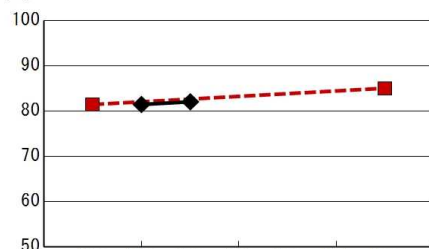
工業の製造品出荷額や市内購買の増加により、にぎわいや雇用が創出され、地域経済が活性化しています。

■施策の成果状況と評価

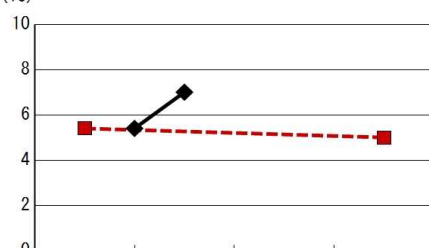
指標①	製造品出荷額等（百万円）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【商工観光課】	117,307	108,835	126,335	142,574	☀️ (向上)
評価	指標値は、公表時期の関係で2年前の数値	(百万円)				対前年度 ☀️ (向上)
	（状況）平成28年度は1,263億円で、平成27年度は同値、総合計画基準値との比較では90億円（7.7%）増加しており、順調に推移しています。 （原因）市内の事業所数はほぼ横ばいであることから、事業所数の増加でなく、1事業所当たりの製造出荷額が増加していると考えられます。 なお、業種別の出荷額では、食料品製造業、化学工業、家具・装備品製造業の順となっています。					目標達成度 ■■■ (低)

指標②	市内総生産額（第2次・第3次産業）（百万円）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【商工観光課】	131,697	139,200	141,821	153,138	☀️ (向上)
評価	指標値は、公表時期の関係で2年前の数値	(百万円)				対前年度 ☁️ (横ばい)
	（状況）平成28年度は1,418億円で、平成27年度よりも26億円（1.9%）増加、総合計画基準値より101億円（7.7%）増加しており、増加基調で推移しています。 （原因）市内の事業所数はほぼ横ばいであることから、事業所数の増加ではなく、1事業所当たりの生産額が増加していると考えられます。 生産額では、製造業の伸びが一番大きく、次いで電気・ガス・水道、不動産業、サービス業となっており、生産出荷額上位の業種が順調に伸びていることが要因と考えられます。					目標達成度 ■■■ (低)

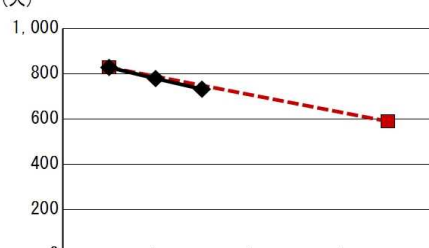
基本事業04 買物環境改善による市内購買力向上

指標	日用品や食料品を市内で買う市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【商工観光課】		81.4	82.0	85	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				(横ばい)
	(状況) 平成28年度は82%で、前回調査の81.4%とほとんど変化はありません。 (原因) 水原地区では90%と高く、京ヶ瀬地区は60%と低くなっています。京ヶ瀬地区は新潟市と距離的に近いことが低い要因と考えられ、指標値に変化がない事由としては、市内における商業店舗の立地状況に大きな変化はなく、市民の買物動向に影響が及んでいないことが要因として考えられます。					対 前年度  (横ばい) 目 標 達成度  (低)

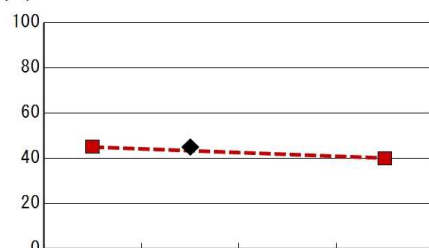
基本事業04 買物環境改善による市内購買力向上

指標	日用品や食料品の買物に困っている市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【商工観光課】		5.4	7.0	5	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				(低下)
	(状況) 平成28年度は7.0%で、前回調査より1.6ポイント悪化しています。統計誤差の範囲ですが、本市の状況を踏まえると低下と捉えます。 (原因) 年齢別でみると75歳以上では、22%の方が困っている状況です。高齢化社会のもと、高齢者のみの世帯が増加してきており、買物が困難と感じている高齢者が増えてきていることが要因と考えられます。					対 前年度  (低下) 目 標 達成度  (低)

基本事業05 就労の促進

指標	有効求職者数（市民）（人）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【商工観光課】	827	778	731	589	
評価		(人)				(向上)
	(状況) 平成28年度は731人で、平成27年度と比較し47人（6.4％）減少、総合計画基準値より96人（6.3％）減少しており、仕事がなく仕事を求めるという状況（求職）が解消・改善されています。 (原因) ハローワーク新発田の地域別有効求人倍率は平成26年度0.83倍、平成27年度0.88倍、平成28年度0.98倍と上昇傾向にあり、求職者が就職に結びついていることが要因と考えられます。					対 前年度  (向上) 目 標 達成度  (低)

基本事業05 就労の促進

指標	人手が不足している市内事業所の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【商工観光課】			44.9	40.0	
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(％)				(横ばい)
	(状況) 平成28年度は44.9%ですが、平成28年度に初めて取得した数値であり、前年度の数値がないため比較はできません。 (原因) 平成28年度の阿賀野市内事業所の業種別の求人の状況は、医療・福祉業が求人数全体の28.1%、建設業で24.6%、製造業で15.0%の順で高くなっており、逆に金融業・保険業は人手不足感がありません。有効求人倍率が上昇傾向にあり、十分な人材を確保できないことが要因と考えられます。また、収益が上がりず新規に雇用できない事業所もあることが考えられます。					対 前年度 (比較不可) 目 標 達成度  (低)

政策 04 地域経済の活性化

施策 03 観光の振興

あるべき姿

観光客数が増え、特に、リピーターの獲得により、観光交流人口が拡大しています。

■施策の成果状況と評価

指標①	観光客入込数（人）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値												
	【商工観光課】	1,181,568	1,211,681	1,153,736	1,400,000	☂ (低下)												
評価	（状況）平成28年は115.3万人で、平成27年より6万人減少、総合計画基準値より2.8万人減少となっており、若干低下傾向にあります。 （原因）平成27年との比較で、減少人数の大きかった地点は瓢湖水きん公園が2万人、瓢湖屋敷の杜ブルワリーが1.8万人、五頭連峰が1万人、増加した地点は五頭山麓うらの森・村杉温泉が1.2万人となっています。 冬場の観光の目玉となる瓢湖の鳥インフルエンザが影響し、減少につながったものと考えられます。	(人) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>1,181,568</td></tr><tr><td>H27</td><td>1,211,681</td></tr><tr><td>H28</td><td>1,153,736</td></tr><tr><td>H31</td><td>1,350,000</td></tr><tr><td>H32</td><td>1,400,000</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	H26	1,181,568	H27	1,211,681	H28	1,153,736	H31	1,350,000	H32	1,400,000	対 前年度 ☂ (低下) 目標 達成度 ■■■ (低)
		年度	実績値															
H26	1,181,568																	
H27	1,211,681																	
H28	1,153,736																	
H31	1,350,000																	
H32	1,400,000																	

指標②	宿泊施設に占めるリピーターの割合 （2回以上）（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値						
	【商工観光課】			34	➔	☁ (横ばい)						
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値 （状況）平成28年度は34.0％で、平成28年度に初めて取得した数値のため、経年比較はできません。 （原因）自然、温泉、食等を求める一定のリピーターがあるものと考えられます。五頭温泉郷は顧客満足度調査で県内3期連続第1位（新潟県観光地満足度調査）となっており、既に高い水準にあります。	(％) <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>34.0</td></tr><tr><td>H28</td><td>34.0</td></tr></tbody></table>				年度	実績値	H26	34.0	H28	34.0	対 前年度 (比較不可) 目標 達成度 ■■■ (低)
		年度	実績値									
H26	34.0											
H28	34.0											

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 地域資源を生かした観光の活性化

指標	宿泊施設の連泊（2泊以上）利用者数（人）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【商工観光課】			6,146	→	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(人)				対前年度
	（状況）平成28年度は6,146人で、初めて取得した数値のため、経年比較はできません。 （原因）自然、温泉、食等を求める以外に、ラジウム温泉の効能を求めている連泊があるものと考えます。					目標準達成度 (低)

基本事業02 情報発信の強化

指標	シティーセールスサポーター数（人）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【商工観光課】			0	60	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(人)				対前年度
	（状況）平成28年度から募集を行いました。応募者0人で、不調です。 （原因）サポーターの任務内容が分かりづらかったこと、広範囲での募集を行わなかったこと等が影響しているものと考えます。					目標準達成度 (低)

基本事業02 情報発信の強化

指標	阿賀野市観光協会フェイスブックのフォロワー数（人）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【商工観光課】	600	772	834	2,400	☀ (向上)
評価	（状況）平成28年度は834人で、平成27年度より62人増加、総合計画基準値より234人増加し、右肩上がりです。阿賀野市に興味を持つ人が増えています。 （原因）スマホ等の普及によるものと考えられます。全般的にはイベント情報を告知する3月～9月にフォロワー数が増加しています。しかし、目標値にはまだ程遠い状況にあります。	(人)				対前年度
						目標準達成度 (低)

基本事業03 観光施設の維持管理と整備充実

指標	観光施設の満足度（％）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【商工観光課】			86.7	90.0	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成28年度の値	(％)				対前年度
	（状況）平成28年度は市に訪れた方の約87％が「満足」または「普通（不満はない）」と回答されています。なお、本指標は平成28年度に初めて取得した指標のため、経年比較はできません。 （原因）満足度の選択肢の内訳は、「たいへん満足」が24.5％、「満足」が31.4％、「普通」が30.9％となっています。満足度の高い施設は水原代官所、瓢湖でした。施設における窓口対応、施設整備が整っているものと考えます。					目標準達成度 (低)

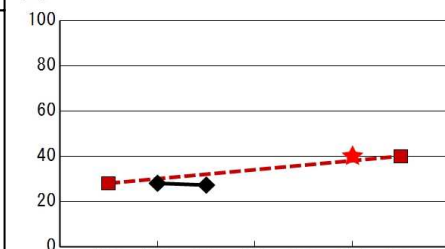
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 01 土地の有効利用

あるべき姿

各地区の特性を踏まえたバランスのとれた土地の有効活用が行われています。

■施策の成果状況と評価

指標①	各地区的特性を踏まえた開発・にぎわいづくりなどバランスのとれた土地活用(整備)が行われていると感じる(%)	実績値(H26)	実績値(H27)	実績値(H28)	目標値(H32)	対基準値
	【建設課】		28	27.2	40	 (横ばい)
基準値は、初取得の平成27年度の値		(%)				対前年度
評価	(状況) 平成28年度は土地活用整備の満足度は27.2%で前回調査の28.0%とほぼ同値で、統計誤差の範囲であり、横ばいとなっています。 (原因) 大きな開発等による目に見える土地利用整備の状況の変化が感じにくいためと思われます。 土地の有効利用につながるものとして平成25年度から定住者、転入者に対する補助を行っております。居住年数が5年未満の方の満足度は33.3%と全体よりも高めであり、こうした取り組みへの効果を感じられます。年齢別に見ると、20代は肯定的な評価が42.3%と高い傾向があります。					 (横ばい)
						目標達成度  (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 新たな生活・交流の拠点形成

指標	拠点形成への事業化が決定した箇所数（か所）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	0	0	0	2	(横ばい)
評価	(状況) 平成28年度までに拠点形成への事業化が決定した箇所はありません。 (原因) 道の駅については基本構想がほぼ完成し平成29年6月に公表しており、現在は整備計画の策定に向けた作業を始めています。水原駅街路事業についても事業化に向け調整中です。					(横ばい)
						目 標 達 成 度 (中)

基本事業02 適正な開発の促進

指標	転入者の住宅取得件数（平成28～32年度の累計）（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	21	21	41	150	(向上)
評価	平成27年度以前は単年の実績値					(向上)
	(状況) 本基本計画期間での転入者の住宅取得件数累計は41件となっています。平成27年度と比較し20件増となっています。 (原因) 住宅取得へ向けた取り組みとして補助金を交付していますが、条件の1つで転入者へは補助額の加算が設けられており、増加の一因となっていると思われます。					目 標 達 成 度 (低)

基本事業03 土地・家屋の適正利用と有効活用

指標	管理不全な空き家数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	657	613	586	309	(向上)
評価	(状況) 平成28年度は586件で、昨年度より27件減少、総合計画基準値より71件減少しており、成果は向上しています。 (原因) 管理不全空き家の所有者の特定及びその所有者に対する指導・助言により、除却や適正な管理が行われたこと等によるものと思われます。					(向上)
						目 標 達 成 度 (中)

基本事業04 公園の維持管理と整備充実

指標	憩いの場としての公園の満足度（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【公園管理事務所】		61.5	63.1	65	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	(状況) 平成28年度は63.1%で、前回調査より1.6ポイント向上ですが、統計誤差の範囲であり、横ばいの状況です。 (原因) 公園の維持管理が適切に行われていますが、遊具の老朽化が目立ち、公園の魅力が上昇しているとは言えない状況です。					目 標 達 成 度 (低)

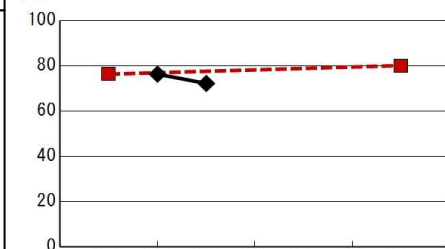
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 02 道路環境の充実

あるべき姿

市内外への安全かつ円滑な移動が可能となっています。

■施策の成果状況と評価

指標 ①	道路の整備状況が充実していると感じる市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】		76.2	72.1	80	
	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				(横ばい)
評 価	（状況）平成28年度は72.1％で、前回調査より4.1ポイント減少しておりますが、統計誤差の範囲と考え、横ばいとしました。 （原因）国道49号阿賀野バイパスや関連アクセス道路は整備中で、供用するまで移動時間に変化がないことが横ばいの原因と考えます。今後は、国道49号阿賀野バイパス等の開通により、市内の道路整備状況の満足度が向上すると考えられます。地区別に見ると、笹神地区は不満が35.6％と多くなっています。					対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達 成 度  (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市外へのアクセス向上

指標	新潟東部産業団地から新潟亀田ICまでの移動時間（分）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	31	31	31	24	(横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は31分で、総合計画開始時から変化はありません。 (原因) 国道49号阿賀野バイパスは順調に整備が進んでいますが、供用するまで移動時間に変化がないことが要因です。ただし、平成28年度は、平成27年度の約1.9倍の予算が投入され事業の進捗が図られました。					(横ばい)
						(中)

基本事業02 生活道路の維持管理と整備充実

指標	市内の車での移動に対する満足度（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】		72.3	68.5	75	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	(状況) 平成28年度は68.5%で、前回調査と比べ3.8ポイント減少しておりますが、統計誤差の範囲と考え横ばいとしてしました。 (原因) 市内の移動に関しての大きな道路改良等による変化がなかったことが要因と考えます。地区別にみると笹神地区は、満足度が62.4%と低くなっています。その理由は集落が点在し、幹線道路や市街地から離れている地形特性によるものと考えます。					(低)

基本事業03 効率的な除排雪の推進

指標	除排雪に満足している市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】		61.4	58.9	65	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	(状況) 平成28年度は58.9%で、前回調査と比べて2.5ポイント減少しておりますが、消雪施設の整備も進んでおり、統計誤差の範囲と考え、横ばいとしてしました。 (原因) 平成28年度は、大雪があったことも満足度へ影響があった可能性があります。地区別にみると安田地区が満足度が67.8%と高く、笹神地区が50.7%と低くなっています。笹神地区が低い理由は、降雪量が多いことによるものと考えます。					(低)

基本事業04 橋りょうの長寿命化

指標	橋りょうの長寿命化率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【建設課】	0	0	0	100	(横ばい)
評価	(状況) 平成28年度現在、長寿命化対象の16橋のうち長寿命化対策が終了した橋りょうは0件のため、長寿命化率は0%です。ただし、修繕計画に基づき、修繕工事1件（水原地区）を発注しました。 なお、危険度Ⅳの非常に危険な橋りょうはありません。 (原因) 修繕工事については地元調整に時間を要し、平成29年度に繰越しましたが、平成29年度に完了しています。その他の工事については順次進めていきます。					(横ばい)
						(低)

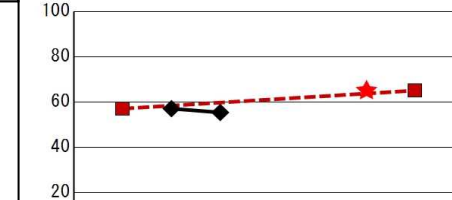
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 03 公共交通の充実

あるべき姿

公共交通が充実し、市民生活における移動の利便性が向上しています。

■施策の成果状況と評価

指標 ①	公共交通機関の満足度 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値											
	【総務課】		57	55.3	65	 (横ばい)											
評 価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対 前年度											
	(状況) 平成28年度は55.3%で、前回調査より1.7ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。状況は前年度と何も変わっていないためです。 (原因) 市内移動では、地区別で満足度に差異がある状況です。また、市内移動、市外移動、共に中高生がいる世帯や50歳未満の年代、学生、会社員・公務員の満足度が低い状況です。満足度がほぼ横ばいに推移している要因としては、鉄道の運行時刻、運行頻度など利用者ニーズと現状に差異があり、それが縮小していないことと思われます。	 <table><caption>公共交通機関の満足度 (%)</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>57</td></tr><tr><td>H27</td><td>57</td></tr><tr><td>H28</td><td>55.3</td></tr><tr><td>H31</td><td>65</td></tr><tr><td>H32</td><td>65</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	H26	57	H27	57	H28	55.3	H31	65	H32	65
年度	実績値 (%)																
H26	57																
H27	57																
H28	55.3																
H31	65																
H32	65																
					目 標 達成度												
					 (低)												

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 市内の交通手段の確保

指標	市営バスの年間総利用者数（人）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	114,156	111,010	108,765	→	☂ (低下)
評価	(状況) 平成28年度は10.8万人で、平成27年度と比較すると2,245人利用者が減少（2.0%低下）し、総合計画基準値との比較では5,391人減少（4.7%低下）となり、順調とはいえません。 (原因) 路線別では、折居大日線で9.3%低下、江端線で8.6%低下と大きく落ち込んだことが影響しています。全体としては、運行回数や運行時間等において、経費面等の制約により利用者ニーズに十分対応しきれていないことが要因となっていますが、高齢者の運転免許所持割合増加による利用減も影響しています。					対 前年度 ☂ (低下)
						目 標 達成度 ■■■ (中)

基本事業01 市内の交通手段の確保

指標	市内移動の公共交通機関の満足度（%）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】		67.3	65.9	70	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成28年度は65.9%で、前回調査より1.4ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。状況は前年度と大きく変わっていないためです。 (原因) 年齢別では20～59歳、地区別では安田地区、笹神地区、居住年数別では20年未満、職業別では学生、会社員・公務員、家族構成別では中高生がいる世帯で満足度が低くなっています。特に、中高生がいる世帯で不満が高くなっています。満足度がほぼ横ばいに推移している要因としては、路線や運行時刻、運行頻度など利用者ニーズと現状に差異があり、それが縮小していないことと思われます。					対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 市外への交通手段の確保

指標	市外移動の公共交通機関の満足度（%）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】		46.6	44.6	60	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値 (状況) 平成28年度は44.6%で、前回調査より2.0ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。状況は前年度と大きく変わっていないためです。 (原因) 年齢別では40～59歳、職業別では学生、会社員・公務員、居住年数別では3年以上5年未満と10年以上20年未満、家族構成別では核家族や中高生がいる世帯で満足度が低いですが、新潟方面へのアクセス改善ニーズが高いですが、地区ごとで経路やアクセスポイント、交通手段（電車、バス等）が異なっていることが特徴となっており、新潟方面へのアクセスが改善されていないことが横ばいの要因です。					対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 市外への交通手段の確保

指標	水原駅の1日平均乗者数（人）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	815	805	809	→	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は809人で、平成27年度より4人増加、総合計画基準値との比較では6名減であり、横ばいの状況です。 (原因) 羽越本線の1日あたり運行本数に変化がなかったことが主要因です。 また、利用者の多い通勤・通学時間帯において、水原駅における接続を考慮し、JRのダイヤ改正にあわせ市営バスの発着時刻を適宜変更し、利用者の利便性を確保していることが要因と思われます。					対 前年度 ☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■■■ (達成)

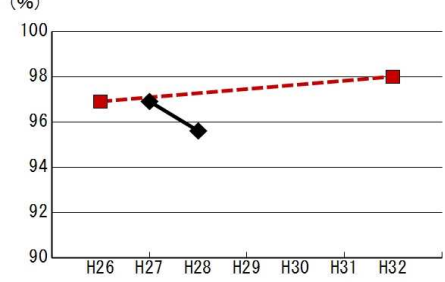
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

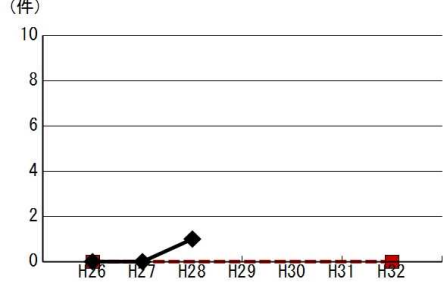
施策 04 上水道の安定供給

あるべき姿

安全な水道水が安定的に供給されています。

■施策の成果状況と評価

指標 ①	安全・安心な水道水が供給されていると感じる市民の割合（％） 【上下水道局（上水道）】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
			96.9	95.6	98	 (横ばい)
評 価	(状況) 平成28年度は95.6%で、前回調査より1.3ポイント低下していますが、統計誤差の範囲と思われ、横ばいと考えます。 (原因) 性別、年齢別、地区別においても大きな差が見られない状況です。現状の水質、維持管理状況が適切に管理されている結果と考えます。					対 前年度  (横ばい)
						目 標 達 成 度  (低)

指標 ②	大規模断水事故件数（件） 【上下水道局（上水道）】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
		0	0	1	0	 (低下)
評 価	(状況) 平成28年12月に148世帯に影響のある大規模断水が1件発生しました。 (原因) 車両事故により消火栓が破損した際に、仕切弁の配置の不具合が原因で、断水範囲が拡大したものです。					対 前年度  (低下)
						目 標 達 成 度  (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 安定供給の推進

指標	管路の耐震化率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【上下水道局（上水道）】	7.2	7.9	8.6	11.2	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は8.6%で、平成27年度より0.7ポイント向上、総合計画基準値との比較では1.4ポイント向上しており、順調です。 (原因) 平成28年度に策定した新水道ビジョンの事業計画に基づき、耐震管（鑄鉄管やポリエチレン管）に布設替えを、計画的に実施できています。 【28年度実績】 24路線 3,134mの耐震化					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (低)
		(%) 25 20 15 10 5 0 H26 H27 H28 H29 H30 H31 H32				

基本事業01 安定供給の推進

指標	浄水施設の耐震化率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【上下水道局（上水道）】	70.5	72.1	72.1	78.7	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は72.1%で、平成27年度と同値、総合計画基準値との比較では、1.6ポイント向上しており、計画通りに推移しています。 (原因) 平成28年度は、平成29年度実施予定の旧管理棟・増設棟の実施設計業務のみであり、実態工事が行われなかったため平成27年度と同値ですが、耐震化工事は計画的に進んでいるためです。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (低)
		(%) 85 80 75 70 65 60 H26 H27 H28 H29 H30 H31 H32				

基本事業02 安全供給の推進

指標	水道水の水質検査において基準を上回った件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【上下水道局（上水道）】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調です。 (原因) 年1回の法定検査51項目及び毎日検査項目である残留塩素濃度、品質管理（濁り、臭い、色、pH）を着実にを行い、適切な設備保全を実施しているためです。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (達成)
		(件) 10 8 6 4 2 0 H26 H27 H28 H29 H30 H31 H32				

基本事業03 健全経営の推進

指標	有収率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【上下水道局（上水道）】	84.8	84.3	84.26	88	☔ (低下)
評価	(状況) 平成28年度は84.26%で、平成27年度とほぼ同値であり、総合計画基準値との比較では0.5ポイント低下しています。全国平均は89.95%（平成27年度）、新潟県平均85.15%（平成26年度）であり、横ばいと言えない状況です。 (原因) 一般的には、水道管の老朽化による地中への漏水が原因ですが、阿賀野市においては給水区域内の不明水量の把握調査を行い、箇所の特定がされないと対策（工事）が行えない状況です。そのため有収率に変化がありません。					☔ (低下) 目 標 達成度 ■■■ (低)
		(%) 90 88 86 84 82 80 H26 H27 H28 H29 H30 H31 H32				

政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 05 汚水処理の推進

あるべき姿

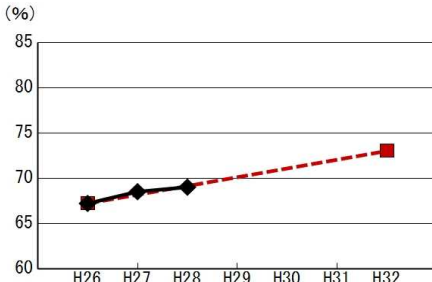
公共用水域の水質の保全のため、適正に汚水処理する世帯が増えています。

■施策の成果状況と評価

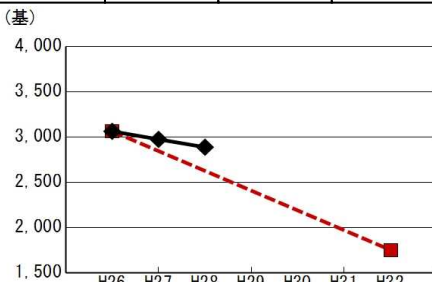
指標 ①	汚水処理人口普及率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値										
	【上下水道局（下水道）】	90.5	91.5	92.83	96	☀ (向上)										
評 価	（状況）平成28年度は92.8％で、平成27年度より1.3ポイント向上し、総合計画基準値との比較では2.3ポイント向上しており、順調です。 （原因）京ヶ瀬地区0.13km、水原地区4.98km、笹神地区3.35km、計8.46kmの下水道管を整備したことにより、下水道施設を利用できる市民が年々増加しています。	(％) <table><caption>汚水処理人口普及率の推移</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>90.5</td></tr><tr><td>H27</td><td>91.5</td></tr><tr><td>H28</td><td>92.83</td></tr><tr><td>H32</td><td>96</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (%)	H26	90.5	H27	91.5	H28	92.83	H32	96	☀ (向上)
						年度	実績値 (%)									
H26	90.5															
H27	91.5															
H28	92.83															
H32	96															
						対 前年度										
						☀ (向上)										
						目 標 達 成 度										
						■■■ (低)										

■基本事業の成果状況と評価

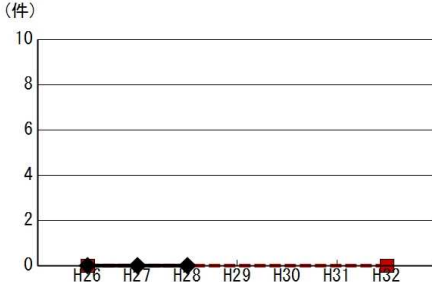
基本事業01 汚水処理施設の整備と接続の促進

指標	水洗化率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【上下水道局（下水道）】	67.2	68.5	69.0	73	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は69.0%で、平成27年度より0.5ポイント向上し、総合計画基準値との比較では1.8ポイント向上し、順調です。 (原因) 既存区域での新規接続は287戸、うち平成28年度から供用開始された地域での接続は64戸となっています。また分母である供用区域の世帯数は、304世帯の増加となっています。これらの計算結果から、0.5ポイント増加しました。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業01 汚水処理施設の整備と接続の促進

指標	単独浄化槽設置基数（基）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【上下水道局（下水道）】	3,061	2,972	2,886	1,750	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は2,886基で、平成27年度より86基減少(改善)し、総合計画基準値との比較では、175基減少(改善)されました。 (原因) 下水道への接続による解消が86基、合併処理浄化槽への切替が0件となっています。市民への負担軽減策としてのリフォーム補助金、普及促進事業の活用がなされたと思われます。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業02 汚水処理施設の維持管理の推進

指標	浄化センター・管路施設の不具合・トラブル件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【上下水道局（下水道）】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調です。 (原因) 施設の不具合・トラブルの発生を未然に防ぐために、日常の点検・メンテナンスを怠ることなく実施しています。また、施設の老朽化や消耗の具合などを勘案し、必要に応じて予防保全または事後保全を適切に実施しており、市民生活に影響を及ぼすような事象は発生しておりません。					☀ (向上) 目 標 達成度 ■■■ (達成)

基本事業03 持続可能な下水道経営の推進

指標	経常収支比率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【上下水道局（下水道）】	-	-	-	-	(比較不可)
評価	(状況) 平成31年4月1日の地方公営企業法適用に向けて準備作業中のため、現在算定できません。平成31年度以降の企業会計移行後に、報告する予定です。					対 前年度 (比較不可) 目 標 達成度 (---)

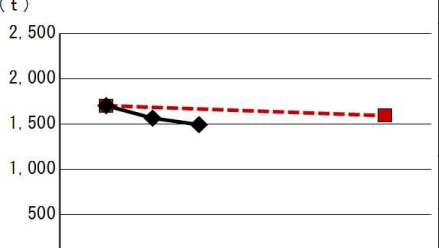
政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

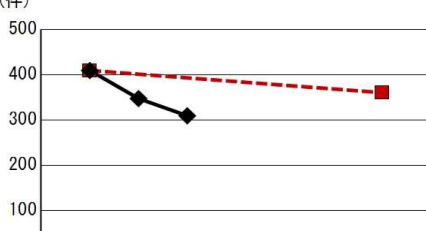
施策 06 生活衛生・環境の保全

あるべき姿

ごみや生活公害の少ないまちになっています。

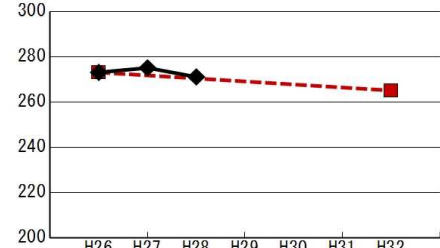
■施策の成果状況と評価

指標 ①	最終処分量（t）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【市民生活課】	1,701	1,563	1,491	1,590	 (向上)																								
評 価	（状況）不燃物と焼却残渣による最終処分量は平成28年度は1,491tで、平成27年度より4.6%減少し、前年度に引き続き目標を達成しています。 （原因）ごみの排出量が減少傾向であるのに対し、1人当たりのごみの排出量は増加傾向にあります。このため、ごみの最終処分量が目標を達成しているのは、人口の減少によるところが大きいものと考えられます。	(t)  <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (t)</th><th>目標値 (t)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>1,701</td><td>1,701</td></tr><tr><td>H27</td><td>1,563</td><td>1,650</td></tr><tr><td>H28</td><td>1,491</td><td>1,600</td></tr><tr><td>H29</td><td>-</td><td>1,550</td></tr><tr><td>H30</td><td>-</td><td>1,500</td></tr><tr><td>H31</td><td>-</td><td>1,550</td></tr><tr><td>H32</td><td>1,590</td><td>1,590</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (t)	目標値 (t)	H26	1,701	1,701	H27	1,563	1,650	H28	1,491	1,600	H29	-	1,550	H30	-	1,500	H31	-	1,550	H32	1,590	1,590	対 前年度  (向上)
						年度	実績値 (t)	目標値 (t)																						
H26	1,701	1,701																												
H27	1,563	1,650																												
H28	1,491	1,600																												
H29	-	1,550																												
H30	-	1,500																												
H31	-	1,550																												
H32	1,590	1,590																												
						目 標 達成度  (達成)																								

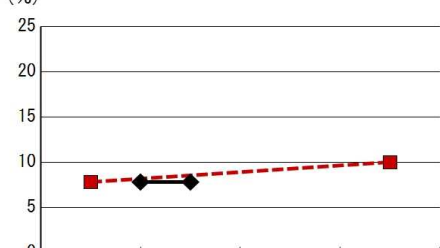
指標 ②	生活衛生・環境に関する苦情件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【市民生活課】	409	347	309	360	 (向上)																								
評 価	（状況）平成28年度は309件で、平成27年度より38件減少し、総合計画基準値の409件から24.4%減少し、前年度から引き続き目標を達成しています。 （原因）雑草の繁茂やごみのポイ捨てなど環境美化に関するものは51件が23件に、また油漏れなど河川の水質保全に関するものは63件から33件と半減しています。市の広報紙やホームページ、チラシなどにより市民に適正な管理を呼びかけたことが効果をあげたものと思われます。	(件)  <table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値 (件)</th><th>目標値 (件)</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>409</td><td>409</td></tr><tr><td>H27</td><td>347</td><td>390</td></tr><tr><td>H28</td><td>309</td><td>370</td></tr><tr><td>H29</td><td></td><td>350</td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>330</td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>350</td></tr><tr><td>H32</td><td>360</td><td>360</td></tr></tbody></table>				年度	実績値 (件)	目標値 (件)	H26	409	409	H27	347	390	H28	309	370	H29		350	H30		330	H31		350	H32	360	360	対 前年度  (向上)
		年度	実績値 (件)	目標値 (件)																										
H26	409	409																												
H27	347	390																												
H28	309	370																												
H29		350																												
H30		330																												
H31		350																												
H32	360	360																												
						目 標 達成度  (達成)																								

■基本事業の成果状況と評価

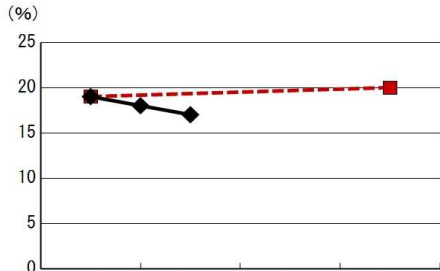
基本事業01 3Rの推進

指標	市民1人当たりのごみの年間排出量【リデュース】(kg)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	273	275	271	265	
評価	家庭ごみの総排出量/人口	(kg)				(横ばい)
	(状況) 平成28年度は271kgで、1人当たりのごみの年間排出量は昨年度から4kg減少しましたが、総合計画開始以降ほとんど横ばいとなっています。 (原因) 近年1人世帯の増加などにより1世帯当たりの人数が少なくなっていることから、相対的にごみの量が減りにくくなっていると思われます。					対 前 年 度  (横ばい) 目 標 達 成 度  (低)

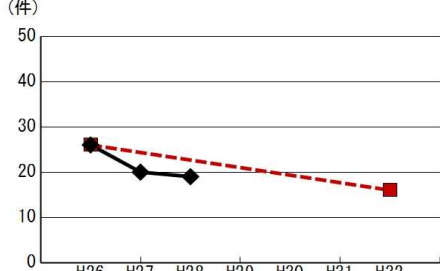
基本事業01 3Rの推進

指標	中古品・フリーマーケット・詰替品等で積極的に再利用している市民の割合 [リユース] (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【市民生活課】		7.8	7.8	10	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(横ばい)				
	(状況) 平成28年度は7.8%で、前回調査と同様であり、横ばいの状況です。 (原因) 「ごみになりにくい詰め替え商品を買う」は47.7%の方が実施、「中古品やフリーマーケット等を積極的に利用している」は12.3%の方が実施しています。 中古品やフリーマーケットを利用する方は、まだ一部にとどまっており、前回から横ばいとなっています。中古品の販売やフリーマーケットに関する情報が少ないことによるものと思われます。	(%)  H26H27H28H29H30H31H32 対前年度  (横ばい) 目標達成度  (低)				

基本事業01 3Rの推進

指標	ごみの資源化率 [リサイクル] (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	19	18	17	20	 (低下)
評価	(状況) 平成28年度は17%で、平成27年度よりも1ポイント減少し、総合計画基準値よりも2ポイント減少しています。 (原因) ごみ分別に対する市民の理解がまだ十分でないものと思われます。安田地区では容器包装ごみの分別収集を行っていないこともあり、他の地区より数値が低くなっています。 また、資源化量の内訳は、缶などの金属類269トン、ビン308トン、新聞紙などの古紙類が1,008トンなどとなっています。					対 前年度
						 (低下) 目 標 達 成 度  (低)

基本事業02 生活衛生・環境の確保

指標	公害（騒音・振動・悪臭・水質汚濁）苦情件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
		26	20	19	16	
評価		(件)				(向上)
	（状況）平成28年度が19件で、平成27年度より1件減少、総合計画時点より7件減少していますが、全体的にはほぼ横ばいとなっています。 （原因）稲わらの焼却に関するものが5件と多く、稲わらなどの野焼きが法律に違反し、周囲に大変な迷惑をかける行為であることを未だ認識していない人が一部に存在しています。					対 前年度  (横ばい) 目 標 達成度  (中)

基本事業02 生活衛生・環境の確保

指標	空き地の管理及び害虫獣に関する苦情件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	22	34	24	15	☂ (低下)
評価	(状況) 平成28年度は24件で、空き地に関する苦情は15件、ハクビシンに関する苦情は9件となっています。 全体としては前年度から29.4%減少しましたが、総合計画時点より2件、9%の増加となっています。空き地に関しては市街地での苦情が多くなっています。 (原因) 少子高齢化や人口減少の影響等で空き地は増加傾向にあり、それに伴い管理の不十分な土地が増えていると思われます。	(件)				☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業03 適正なごみ処理の推進

指標	不法投棄の発生確認件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	65	46	40	33	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は40件で、平成27年度より6件減少、総合計画基準値より25件減少しており、順調に推移しています。 (原因) 職員によるパトロールや監視カメラの設置等による監視活動の強化によるものと考えられます。山林など人目につかないところは減っていますが、市では回収しないテレビなどのごみをごみステーションに捨てる事例が増えています。	(件)				☀ (向上)
						目 標 達成度 ■■■ (高)

基本事業03 適正なごみ処理の推進

指標	分別不適合率(焼却量に対する不燃物の含有率)（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	0.7	0.9	1.9	0.7	☂ (低下)
評価	(状況) 平成28年度は1.9%で、平成27年度の0.9%から倍増しており、平成26年度以降増加する傾向にあります。 (原因) 安田地区が若干高めになっていますが、これは他の地区と分別区分が異なっていて、可燃ごみの種類が多いことによるものと思われます。	(%)				☂ (低下)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

基本事業04 ごみ処理体制の適正化

指標	市民1人当たりのごみの処理コスト（円）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	13,346	10,283	10,402	10,700	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は10,402円で、平成27年度から119円増加、総合計画基準値より2,944円減少となっており、目標を達成している状況です。 (原因) 環境センターでは、施設の老朽化に伴い処理能力の低下や修繕等に要する費用の増加が課題となっていました。このため施設の改修や機器の更新を計画的に実施することで処理能力の回復と維持費の低減に努め、昨年度に引き続き目標値を達成しています。	(円)				☁ (横ばい)
						目 標 達成度 ■■■ (達成)

政策 05 生活に密着した住環境整備の促進

施策 07 地球環境・自然環境の保全

あるべき姿

自然を守り、地球にやさしい暮らしや事業を推進しています。

■施策の成果状況と評価

指標①	自然環境に満足している市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【市民生活課】		93.5	92.8	95	 (横ばい)																								
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)					対 前年度																							
	(状況) 平成28年度は92.8％で、前回調査より0.7ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲であり、横ばいの状況です。 (原因) 年齢や地区にかかわらず五頭連峰や田園風景、瓢湖などの自然環境に満足しています。	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>93.5</td><td>93.5</td></tr><tr><td>H27</td><td>93.5</td><td>93.5</td></tr><tr><td>H28</td><td>92.8</td><td>93.5</td></tr><tr><td>H29</td><td></td><td>94.0</td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>94.5</td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>95.0</td></tr><tr><td>H32</td><td></td><td>95.0</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	目標値	H26	93.5	93.5	H27	93.5	93.5	H28	92.8	93.5	H29		94.0	H30		94.5	H31		95.0	H32		95.0
年度	実績値	目標値																												
H26	93.5	93.5																												
H27	93.5	93.5																												
H28	92.8	93.5																												
H29		94.0																												
H30		94.5																												
H31		95.0																												
H32		95.0																												

指標②	地球にやさしい取組みの平均実践項目数（項目）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																								
	【市民生活課】		5.75	5.78	7	 (横ばい)																								
評価	全16項目での平均実践項目（基準値は平成27年度取得）	(項目)					対 前年度																							
	(状況) 平成28年度は全16項目中5.78項目が実践されています。前回調査は5.75項目でほぼ変化がなく、横ばいとなっています。 (原因) 地球温暖化への対策などは世界共通の課題ですが、市民からは十分な理解が得られていないものと考えられます。 上位3項目は「人がいない部屋の照明をこまめに切る」83.2％、「ごみはリサイクルできるように分別して捨てる」71.5％、「外出先で出たごみはポイ捨てせずに持ち帰る」65.1％です。また、前回と比較して「LED照明を使っている」が39.0％から42.3％へ3.2ポイント高くなりました。	<table><thead><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>H26</td><td>5.75</td><td>5.75</td></tr><tr><td>H27</td><td>5.75</td><td>5.75</td></tr><tr><td>H28</td><td>5.78</td><td>5.75</td></tr><tr><td>H29</td><td></td><td>6.0</td></tr><tr><td>H30</td><td></td><td>6.5</td></tr><tr><td>H31</td><td></td><td>7.0</td></tr><tr><td>H32</td><td></td><td>7.0</td></tr></tbody></table>					年度	実績値	目標値	H26	5.75	5.75	H27	5.75	5.75	H28	5.78	5.75	H29		6.0	H30		6.5	H31		7.0	H32		7.0
年度	実績値	目標値																												
H26	5.75	5.75																												
H27	5.75	5.75																												
H28	5.78	5.75																												
H29		6.0																												
H30		6.5																												
H31		7.0																												
H32		7.0																												

指標	市の施設における温室効果ガス（CO2）排出量（t-CO2）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	10,192	9,871	9,861	10,000	 (向上)
評価	（状況）平成28年度は9,861t-CO2で、平成27年度より10t-CO2減少し、目標値を達成しています。 （原因）減少した主な要因としては、あがの市民病院の改築に伴い、冷暖房設備を、これまでの重油から、よりCO2の発生量が少ない灯油を燃料とする設備に切り替えたことが挙げられます。					対 前年度 (横ばい)
						目 標 達 成 度 (達成)

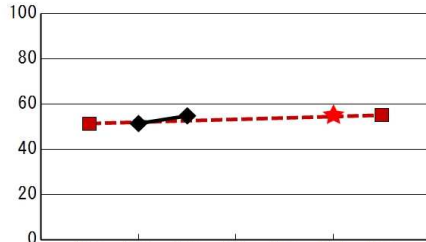
政策 06 市民協働の推進

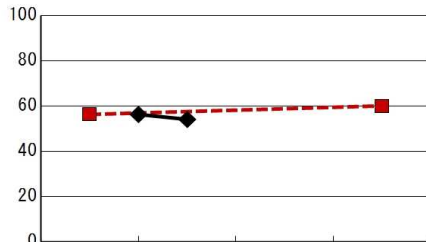
施策 01 市民によるまちづくり活動の推進と支援

あるべき姿

市民と行政が協働してまちづくりを行っています。

■施策の成果状況と評価

指標①	市民と行政が協働してまちづくりを行っていると感じる市民の割合（％） 【市民協働推進課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
			51.3	54.7	55	 (向上)
評 価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）平成28年度は54.7％で、前回調査より3.4ポイント増加しており、順調に推移しています。 （原因）市民による主体的・自発的な活動が増えていることによるものと考えます。 男女別では、女性は男性より7.3ポイント高くなっています。 年代別では、40歳代が42.3％と最も低く、一方70歳～74歳代が65.2％と最も高くなっています。 地区別では、ほぼ同じ割合となっており大きな違いは見られません。					 (向上) 目 標 達 成 度  (高)

指標②	コミュニティ活動に参加している市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民協働推進課】		56.2	54.0	60	 (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）平成28年度は54.0％で前回調査より2.2ポイント減少していますが、統計誤差と思われる、ほぼ横ばいにあると考えられます。 （原因）男女別では、男性が65.4％に対し女性が44.3％と21.1ポイント低くなっています。 また年代別では、40歳代から70歳代の年代の人はほぼ半数の市民が参加しています。30歳代では41.2％に対し20歳代では19.1％と22.1ポイント低くなっており、若い世代は地域におけるコミュニティ活動に対して関心が薄いと思われます。 地区別では、笹神地区が62.6％と割合が高くなっています。					 (横ばい)
						目 標 達 成 度  (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 コミュニティ施設の利用促進

指標	コミュニティ施設（自治会集会施設）に対する自治会長の満足度（％） 【総務課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	基準値は、初取得の平成28年度の値			72.4	90	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は72.4%となっています。初めて取得した数値であり経年比較はできません。 (原因) 7割が満足していますが、満足していないとした理由の中では、施設や設備の老朽化が15.8%と最も多くなっており、修繕や建替えに迫られていることがうかがえます。					対前年度 (比較不可)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業01 コミュニティ施設の利用促進

指標	コミュニティ施設（自治会集会施設）が有効に使われていると感じる自治会長の割合（％） 【総務課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値		93.9	89.8	95	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は89.8%で、平成27年度より4.1ポイント低下していますが、ほぼ横ばいです。 (原因) 9割の自治会は有効利用していると感じています。地区別では、安田地区85.4%、京ヶ瀬地区87.9%、水原地区92.3%、笹神地区91.2%であり、コミュニティ活動に利用されているものと思われます。					対前年度 (横ばい)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業02 自治会活動の活性化

指標	活動が困難になっている行事がある自治会の割合（％） 【総務課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	基準値は、初取得の平成27年度の値		50.2	42.4	35	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は42.4%で、平成27年度より7.8ポイント向上しました。 (原因) 困難だと感じる行事別にみると、前年度と比較して増加した行事は「高齢者世帯の見回り」で1.8ポイントの増加、それ以外の行事は減少しました。 なお、困難だと感じる行事の上位3項目は、「道路・排水路清掃」18.8%、「スポーツ大会・レクリエーション等」16.7%、「高齢者世帯の見回り」14.3%となっています。					対前年度 (向上)
						目標達成度 ■■■ (中)

基本事業03 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア活動団体登録数（累計）（団体） 【市民協働推進課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
		106	110	112	140	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度の団体登録数は112団体で平成27年度と比べ2団体、総合計画基準値と比べ6団体が増加しており、ゆっくりながら目標値に向かって推移しています。 (原因) 平成28年度に活動を始めた団体は健康づくり分野、地域づくり分野の団体となっています。社会的課題の解決に取り組む市民活動やボランティアなど公益的活動に向けて、これら活動のきっかけづくりや環境づくりとして支援している補助事業制度の効果と思われます。					対前年度 (向上)
						目標達成度 ■■■ (低)

基本事業03 市民活動の活性化

指標	ボランティア活動に取り組む市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民協働推進課】		12.3	11.3	15	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	（状況）平成28年度は11.3％で、前回調査に比べ1ポイント減少していますが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいにあると考えられます。 （原因）男女別では、ほぼ同じ割合です。 年齢別では、年代が若いほど割合が低くなっており、40歳代以上は10％台以上となっているものの、20歳代・30歳代ではそれぞれ4.8％・4.6％と低くなっており、ボランティア活動等に対する個人の認識が影響していると考えられます。 また、「今後参加してみたい」は27.5％、「以前参加していたが、やめてしまった」は6.8％となっています。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業03 市民活動の活性化

指標	市民活動団体・ボランティア活動団体との連携・協働によるまちづくり事業数（事業）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民協働推進課】	49	53	57	70	☀ (向上)
評価	（状況）平成28年度の事業数は57件で、平成27年度との比較では4件増加、総合計画基準値より8件増加しており順調です。 （原因）公益活動に取り組む市民活動・ボランティア活動事業の支援や活動事例の紹介などの取り組みにより、市民の連携・協働したまちづくりの認識が定着してきているものと思われます。 平成28年度においては、市や地域の活性化、障がい者支援活動などの協働事業が増えました。	(事業)				対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業04 ポイント制度を活用した地域の活性化の推進

指標	地域ポイントカードの発行枚数（累計）（枚）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策課】	0	500	10,653	30,000	☀ (向上)
評価	本事業は平成27年3月に開始	(枚)				対 前年度
	（状況）平成28年度時点の累計は10,653枚の発行となっており、27年度の500枚に比べて20倍以上増加しています。地域ポイントカードが順調に市民へ普及しています。 （原因）健康づくり、生涯学習、防災等、幅広い分野の行政イベントでポイント付与を行い、市民が地域ポイントカードを知る機会が多くあったことが原因の一つと考えられます。					☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

基本事業04 ポイント制度を活用した地域の活性化の推進

指標	地域ポイントカード加盟店数（店）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策課】		15	17	200	☀ (向上)
評価	（状況）平成28年度は17店舗で、平成27年度に比べると2店舗増えています。新規加盟店は5店舗で、脱退店舗は3店舗です。 （原因）新規の加入もありますが、加盟店におけるポイント付与端末の維持経費の負担が重荷と考えられます。	(店)				対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						■ ■ ■ (低)

政策 06 市民協働の推進

施策 02 生涯学習の充実

あるべき姿

生涯学習に取り組み、豊かな人生を過ごしているとともに、学習成果を地域や社会に還元する市民が増えています。

■施策の成果状況と評価

指標 ①	生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】		13.1	11.7	15	(横ばい)
評価	文化芸術スポーツ,街づくり等の定期学習(基準値H27取得)	(%)				
	(状況)平成28年度は11.7%で、前回調査より1.4ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因)取組んでいる年代では65歳以上の方が50%以上です。20~30歳代は減少しており、住民ニーズの多様化や高度情報化社会の中で、働く世代や子育て世代の時間的余裕が少ないことが要因です。					
		対前年度 (横ばい) 目標達成度 (低)				

指標 ②	学習成果を地域や社会に還元している市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】		9	7.4	10	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				
	(状況)平成28年度は7.4%で、前回調査より1.6ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因)生涯学習に取り組んでいる市民の6割以上が学習活動を還元していますが、残りの4割の方はご自身のための学習となっています。					
		対前年度 (横ばい) 目標達成度 (低)				

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 主体的な学習活動の推進

指標	市民主体の年間学習活動回数（延べ）（回）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】	4,870	3,742	5,431	4,967	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は5,431回で、平成27年度より1,689回増加、総合計画基準値との比較では561回増加し、目標を達成している状況です。 (原因) 平成27年度に水原公民館の改修・京ヶ瀬公民館の京和荘への移行などで活動場所が利用できなかったことで一時的に減少した部分が回復したことで、改修した施設（展示場等の新設）の回数が増加しています。					対 前年度 ☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進

指標	学習機会（テーマ・教室）が充実していると感じる市民の割合（%）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】		7.7	8.3	10	☁ (横ばい)
評価	満足度は満足、やや満足の合計(基準値は平成27年取得)					対 前年度 ☁ (横ばい)
	(状況) 平成28年度は8.3%で、前回調査より0.6ポイント増加しましたが、統計誤差の範囲であり、横ばいです。 なお、「満足」「やや満足」「ふつう」までを含めた成果指標値は、平成28年度は86.9%、前回調査は87.2%となっています。 (原因) 平成28年度は塾のコンビニ事業等により、市内で各種講座が増加し、市内での学習機会は微増しています。 しかし実際に生涯学習活動をしている人は11.7%であり、生涯学習をしていない市民の方の78.7%の方が満足度の「ふつう」を選択したことが原因です。					目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

基本事業02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進

指標	この1年間に生涯学習施設を利用したことがある市民の割合（%）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】		18.6	18.3	20	☁ (横ばい)
評価	基準値は初取得の平成27年度の値					対 前年度 ☁ (横ばい)
	(状況) 平成28年度は18.3%で、前回調査より0.3ポイント低下していますが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因) 利用内訳は図書館66.0%、公民館45.4%、五頭連峰少年自然の家6.5%、博物館4.1%となっています。20・40～60歳代が昨年より低下しており、65歳以上は横ばいの状況であり、働く世代や子育て世代が時間的に余裕がないことが影響していると考えられます。					目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

基本事業03 文化財の保護・活用

指標	資料館・博物館の利用及び文化行政事業に参加したことがある市民の割合（%）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【生涯学習課】		10.2	7.3	12	☔ (低下)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					対 前年度 ☔ (低下)
	(状況) 平成28年度は7.3%で、前回調査より2.9ポイント低下していますが、統計誤差の範囲ですが、各種利用者数の推移を踏まえると順調ではありません。 (原因) 個人及び1団体あたりの人数が減少しており、特に五頭の麓のくらし館の来館者の減少が大きく影響しております。					目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

政策 06 市民協働の推進

施策 03 人権を尊重するひとづくり

あるべき姿

人権尊重の理念が根付き、差別や偏見のないまちになっています。

■施策の成果状況と評価

指標 ①	差別や偏見のないまちになっていると感じる市民の割合（％） 【市民生活課】	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
			50.3	52.3	60	(横ばい)
評 価	（状況）平成28年度は52.3%で、前回調査より2.0ポイント向上しています。指標値の向上は見られましたが、統計誤差の範囲とも考えられ、横ばいと考えます。 （原因）性別での差はなく、地区では安田地区がやや高く水俣病関係によるものと考えられます。学校やイベントを通して、教育啓発活動を続けていますが、一般市民への啓発機会が十分でないことが原因のひとつと考えます。					対 前年度 (横ばい)
						目 標 達 成 度 (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 高齢者の人権擁護の推進

指標	高齢者虐待認知件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【高齢福祉課】	21	7	24	0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は24件で、平成27年度より17件増加し、総合計画基準値からは3件増加していますが、平成27年度が過去の平均からすると大幅に少なかったため横ばいと考えます。 (原因) 虐待を受けている人の4割が認知症です。警察からの相談が多い傾向にあります。認知症の方の介護は心身共にストレスが大きく、虐待に至ってしまうことも多い現状があります。					☁ (横ばい)
						☂ (低下)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

基本事業02 障がい者の人権擁護の推進

指標	障がい者虐待認知件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	2	2	1	0	☁ (横ばい)
評価	(状況) 平成28年度は1件で、平成27年度より1件減少、総合計画基準値より1件減少していますが、横ばいの状況です。虐待を疑われる通報は、担当相談員から1件ありました。昨年度比として、減少していますが、心配なケースがみられます。 (原因) 1件の内容は近親者によるものでした。市民向けの周知が不足しているために、市民からの通報・相談が少ないと考えています。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (中)

基本事業03 児童虐待やいじめ防止対策の推進

指標	児童虐待認知件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【社会福祉課】	25	39	39	0	☂ (低下)
評価	(状況) 平成28年度は39件で、平成27年度と同数、総合計画基準値からは14件増加しており、順調でないと考えます。 (原因) 3歳～学齢期児童、小学生の虐待認知件数が増えており、身体的心理的虐待とネグレクト（育児放棄）が多くを占めています。 経緯としては学校や民生委員からの連絡によるものが多くなっています。兄弟がたくさんいる家庭、児童虐待を繰り返す家庭があったため、件数が多くなっています。					☁ (横ばい)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

基本事業03 児童虐待やいじめ防止対策の推進

指標	いじめの認知件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【学校教育課】	43	20	32	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は速報値で32件で、平成27年度より12件増加、総合計画基準値から11件減少しており、順調とはいえません。 (原因) 28年度の内訳は小学校が24件、中学校が8件となっています。内容としては冷やかしか、からかいが多くを占めています。 ただし、小学校の24件のうち22件は解消するなどの対策に力をいれています。					☂ (低下)
						目 標 達成度
						■■■ (低)

基本事業04 男女共同参画の推進

指標	固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【市民協働推進課】		34.4	34.1	30	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対前年度
	(状況) 平成28年度は34.1%で、前回調査より0.3ポイント低下しましたが、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因) 男女別では、男性が38.2%、女性が29.1%と男性の割合は女性と比べ9.1ポイント高くなっています。 年代別では、20歳代から50歳代にかけて、ほぼ21%台から25%台で推移していますが、60歳代以上では30%を超え、年代が高くなるにつれ性別役割分担意識を持つ割合が高くなっています。					目標達成度 (低)

基本事業05 同和問題の意識の高揚

指標	同和問題を知っている市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【市民生活課】		31.9	29.8	45	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対前年度
	(状況) 平成28年度は29.8%で、前回調査より2.1ポイントの低下となります。数値の変動は、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因) 女性と30代が低い傾向にあります。学校やイベントを通して、教育啓発活動が続けていますが、一般市民への啓発機会が十分でないことが原因のひとつと考えます。					目標達成度 (低)

基本事業06 人権意識の向上

指標	水俣病に関する偏見・差別が存在することを知っている市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【市民生活課】		51.9	52.0	70	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対前年度
	(状況) 平成28年度は52.0%で、前回調査より0.1ポイントの増加となります。数値の変動は、統計誤差の範囲であり、横ばいと考えます。 (原因) 年齢が上がるにつれて、認識が低くなっている傾向が見られます。学校やイベントを通して、教育啓発活動が続けていますが、一般市民への啓発機会が十分でないことが原因のひとつと考えます。					目標達成度 (低)

基本事業06 人権意識の向上

指標	この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【市民生活課】		17.8	17.8	10	(横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(%)				対前年度
	(状況) 平成28年度は17.8%で、前回調査も同値となっており、横ばいとなっています。 (原因) 内容的には、パワーハラスメントが5割を占め、次いで女性の人権が2割を占めています。高い数値になっているのは、時代背景と世代による認識の違いが原因と考えられます。					目標達成度 (低)

政策 06 市民協働の推進

施策 04 開かれた市政の推進と効果的な情報発信

あるべき姿

必要な情報が適宜提供され、情報公開や広聴等の仕組みにより開かれた行政になっています。
情報発信が効果的に行われ、阿賀野市の知名度が上がっています。

■施策の成果状況と評価

指標 ①	市からの情報提供に満足している市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民協働推進課】		88.5	89.2	88.5	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☀️ (向上)
	(状況) 平成28年度は89.2%で、前回調査より0.7ポイント向上し、目標値を達成している状況です。 (原因) 満足している割合で量・質ともいずれも89%台となっています。年代別における満足している割合は、全年代で80%を超えています。 広報紙における特集記事など掲載内容の充実を図り、より読みやすく分かりやすい紙面編集に取り組んでいます。 また、市ホームページでは担当課でウェブページを管理・更新できるCMS（コンテンツマネジメントシステム）を導入し、速やかな情報発信を行っています。					☀️ (向上)
指標 ②	市からの情報発信や広聴等により、開かれた行政になっていると感じる市民の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民協働推進課】		69.8	72.0	70	☀️ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					☀️ (向上)
	(状況) 平成28年度は72.0%で、前回調査より2.2ポイント向上し、目標値を達成している状況です。 (原因) 市ホームページによる速やかな情報発信やパブリックコメント、市長へのたよりなどによる広聴制度により、市民に近い対応を図っていることが認識されているものと思われます。なお、年齢別では20歳代が61.6%と最も低く、年代が高くなるにつれて割合は高くなり、65歳代では83.1%となっています。また、地区別では大きな差異はありません。					☀️ (向上)
指標 ③	阿賀野市の知名度の県内順位 (位)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策課】	17	17	18	15	☔️ (低下)
評価	出展：『地域ブランド調査』の認知度					☔️ (低下)
	(状況) 平成28年度は県内20市中18位で、平成27年度より1つ順位が下がりました。 (原因) 阿賀野市というワードを見聞した情報接触度は県内20市中19位（全国853位）であり、市の情報発信力が相対的に低いことが原因と考えます。 なお、近隣市の県内順位は、新潟市1位、新発田市14位、五泉市20位となっております。					☔️ (低下)
指標 ④	阿賀野市の知名度の全国順位 (位)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策課】	816	816	798	700	☀️ (向上)
評価	出展：『地域ブランド調査』の認知度					☀️ (向上)
	(状況) 平成28年度1,047自治体中798位で、平成27年度より順位が18位上がっています。 (原因) 阿賀野市というワードを見聞した情報接触度は全国853位であり、市の情報発信力が相対的に低いことが原因と考えます。 なお、近隣市の全国順位は、新潟市67位、新発田市593位、五泉市927位となっています。					☀️ (向上)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 情報提供の充実

指標	広報紙で定期的に市政情報を見ている市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民協働推進課】		70.1	71.0	70	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対 前年度
	(状況) 平成28年度は71.0％で、前回調査より0.9ポイント向上し、目標値を達成している状況です。 (原因) 男女別では男性が64.6％に対し女性は76.0％と11.4ポイント高くなっています。 年代別では70歳代が最も高く91.9％で、年代が高くなるにつれて見ている市民の割合は高くなるものの、20歳代では31.4％と最も低く、市政情報については広報紙以外の手段により得ているものと思われます。 また、地区別では大きな変化は見られません。					☀ (向上) 目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業01 情報提供の充実

指標	年間ホームページアクセス数（万回）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民協働推進課】		160	156	178	☁ (横ばい)
評価	ページビューで算定（基準値は平成27年度取得）	(万回)				対 前年度
	(状況) 平成28年度のアクセス数は155万6千回で平成27年度より4万6千回減少し、アクセス数としては2.5％の低下となりましたが、ほぼ横ばいであると考えています。 (原因) 市のホームページについては、平成27年2月のリニューアル後大幅にアクセス数が増加しました。リニューアル以降も堅調にアクセス数は推移していますが、イベントや催事情報ページへのアクセスが高く、これらへの市民からのアクセス数が大きな要因となっているものと思われます。					☁ (横ばい) 目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

基本事業02 広聴活動・情報公開の充実

指標	広聴等による意見・提案・質問数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民協働推進課】	71	65	70	74	(比較不可)
評価	(状況) 平成28年度は70件で、総合計画基準値の71件と比べて1件減少しましたが、前年度比較では5件増えており、ほぼ横ばいにあると考えます。 (原因) 市長へのたよりの投稿方法としては、専用はがきなど郵送によるもの、ホームページのメールフォームによるもの、直接持参によるものなどの方法がありますが、平成27年2月のホームページのリニューアルに伴い、各ウェブページの最下部に問い合わせメールフォームを新設したことから投稿の一部が各課への問い合わせに移行したものと思われます。	(件)				対 前年度
						(比較不可) 目 標 達成度 (---)

基本事業03 情報発信の強化

指標	移住・定住ホームページアクセス数（回）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市長政策課】		27,852	25,708	50,000	☂ (低下)
評価	ページビューで算定（基準値は平成27年度取得）	(回)				対 前年度
	(状況) 平成28年度は25,708回で、平成27年度と比較して約8％減少しており、事業の成果としては低下しています。 (原因) 更新回数は予定通りですが、更新内容が「住まい」に偏っていることが要因となっています。平成27年度につけた『田舎くらしを始めませんか』のバナーが平成28年度外れたことも1つの原因と考えられます。					☂ (低下) 目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

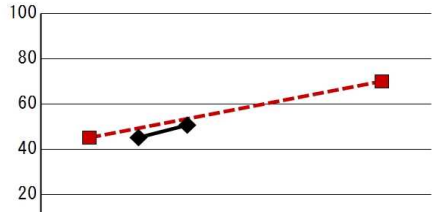
政策 07 信頼される行政経営

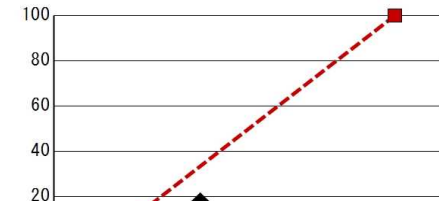
施策 01 行政経営の推進

あるべき姿

効率的・効果的な行財政運営が行われています。

■施策の成果状況と評価

指標①	効率的・効果的な行財政運営が行われていると感じる市民の割合（％）	実績値（H26）	実績値（H27）	実績値（H28）	目標値（H32）	対基準値
	【企画財政課】		45.1	50.6	70	 (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				対前年度
	（状況）平成28年度は50.6％で、前回調査より5.5ポイント向上していますが、統計誤差の可能性もあるため横ばいと判定します。 （原因）年齢別では20代が対前年度18.1ポイント向上、30～64歳及び自営業・会社役員や会社員・公務員は若干の向上が見られるものの50％未満となっており、経営に関わる方の評価が低い傾向にあります。市の政策での業績向上等の実感が少ないことも原因と考えられます。					 (横ばい)
						目標達成度  (低)

指標②	施策目標の達成率（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
			-	17.9	100	☀ (向上)
評価	【企画財政課】 (状況) 平成28年度時点で目標を達成している施策は28施策中5施策で、その割合は17.9%となっています。初めて取得した数値であり、経年比較はできません。 (原因) 現在目標を達成している施策は「セーフティネット」「防犯対策」「交通安全対策」「高齢者福祉」「生活衛生・環境」となっています。残る施策は、まだ目標達成度が低い状態です。	(％)				対 前年度
						(比較不可)
						目 標 達成度 ■■■ (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 成果重視の行政経営の推進

指標	基本事業目標の達成率 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【企画財政課】		-	11.7	100	☀ (向上)
評価	対象は、目標達成度の算出が可能な111基本事業です。	(状況) 平成28年度時点で目標を達成している基本事業は111基本事業中13基本事業で、その割合は11.7%となっています。初めて取得した数値であり、経年比較はできません。 (原因) 現在目標を達成している基本事業は「治水」「青少年の健全育成」「大気・水質保全」「情報管理」などとなっています。 なお、目標達成が近い基本事業が6事業 (5.4%) となっています。				☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業01 成果重視の行政経営の推進

指標	成果が順調・向上した事務事業の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【企画財政課】		-	25.1	100	☀ (向上)
評価	対象は、指標を設定した通常評価事業のみです。	(状況) 平成28年度時点で成果が順調・向上した事務事業は25.1% (130事業/517事業) となっています。初めて取得した数値であり、経年比較はできません。 (原因) 「安全・安心な暮らしの実現」分野では34.9%、「子どもの育成支援の充実」分野では15.5%、「高齢者や障がい者福祉の充実」分野では26.4%、「地域経済の活性化」分野では8.3%、「生活に密着した住環境整備の促進」分野では38.8%、「市民協働の推進」分野では10.0%、「信頼される行政経営」分野では51.1%となっています。				☀ (向上)
						☀ (向上)

基本事業02 健全な財政運営の推進

指標	実質公債費比率 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【企画財政課】	14.6	14.1	13.5	13	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は13.5%で、平成27年度より0.6ポイント減少し、改善しました。					☀ (向上)
	(原因) 平成27年度に償還が終了した地方債の1年当たりの償還額が約2億円で、平成28年度はその分が減少したことによりです。					☀ (向上)

基本事業02 健全な財政運営の推進

指標	将来負担比率 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【企画財政課】	124.2	131.6	151.4	177.5	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は151.4%で平成27年度より19.8ポイント増加しましたが、早期健全化基準の350%を大きく下回っていて、財政の健全な水準を維持しています。					☀ (向上)
	(原因) 標準財政規模が平成27年度より約4億円減少したことと、分子である下水道事業の将来負担見込み額が平成27年度より約9億8,000万円増加したことによるものです。					☀ (向上)

基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	組織間・組織内連携が十分に図られていると感じる職員の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【総務課】		51.2	53.5	75	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％) 				☁ (横ばい)
	(状況) 平成28年度は53.5%で、平成27年度より2.3ポイント向上しましたが、横ばいで目標値には届いていません。 (原因) 35歳から44歳までの階層では、43.1%と低い状況となっています。約2人に1人が連携が少ないと認識しており、次年度以降、設問を見直して理由の分析を行っていく必要があります。					目 標 達 成 度 (低)

基本事業03 組織・人事マネジメントの充実

指標	適材適所な人材が配置されていると感じる職員の割合 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【総務課】		43.4	49.6	70	☀ (向上)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％) 				☀ (向上)
	(状況) 平成28年度は49.6%で、平成27年度より6.2ポイント向上し順調に推移していますが、目標値の達成には更なる努力が必要です。 (原因) 男女別では男性が、職種別では一般職が、年齢別では35歳から54歳までの職員が、適材適所な人材が配置されていないと思う傾向が高くなっています。約2人に1人が連携が少ないと認識しており、次年度以降、設問を見直して理由の分析を行っていく必要があります。					目 標 達 成 度 (低)

基本事業04 公共施設等のマネジメントの推進

指標	市民1人当たりの公共施設等延床面積 (㎡)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【管財課】	4.31	4.40	4.47	4.25	☂ (低下)
評価		(㎡) 				☂ (低下)
	(状況) 平成28年度は4.47㎡で、平成27年度に比べ0.07㎡増加、総合計画基準値との比較では0.16㎡増加しています。平成26年度末時点の県内市町村平均は4.70㎡であり、全体としては横ばいの状況です。 (原因) 平成28年度に京ヶ瀬公民館の統廃合等で879.29㎡削減されましたが、保田小学校を増築(231㎡)、うらの森ICTハウス(1,188㎡)を新築したこと並びに人口減少(昨年比573人)が増加の原因となっています。					目 標 達 成 度 (低)

基本事業05 自主財源の確保

指標	市税収納率 (%)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対基準値
	【税務課】	93.15	94.19	94.36	96.02	☀ (向上)
評価	確定値は6月上旬	(％) 				☁ (横ばい)
	(状況) 平成28年度は94.36%で、平成27年度より0.17ポイント向上し、総合計画基準値から1.21ポイント向上、順調です。県平均は95.3%で、県内順位は20市中13位となっています(平成28年度速報値時点)。 (原因) 現年度分の収納状況では、一部を除き各税目とも昨年度より低下していますが、滞納繰越分の固定資産税と入湯税の収納率が向上したことが原因です。 調定額が、固定資産税と軽自動車税を除き、全般的に減じている中であっても、収納率は一定水準を維持できています。					目 標 達 成 度 (低)

政策 07 信頼される行政経営

施策 02 適切な事務執行とサービス提供

あるべき姿
職員が適切な事務執行を行い、行政サービスが提供されています。

■施策の成果状況と評価

指標 ①	適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	（状況）平成28年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。前年度と同様に、適正な事務処理がされず市民に影響を与えた案件はありませんでした。 （原因）各部署において、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。	(件)				対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏠 (達成)

指標②	事務執行や行政サービスに満足している市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】		84.6	85.1	90	
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値					(横ばい)
	（状況）平成28年度は85.1%で、前回調査より0.5ポイント向上していますが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。 （原因）「満足」が5.7%、「やや満足」が13.2%、「ふつう」が66.2%となっており、前回調査との比較で、「満足」が1.3ポイント、「やや満足」が1.8ポイントそれぞれ増加しました。行政事務が適正に執行された結果、満足度はほぼ横ばいで推移したと考えられます。地区別にみても、満足度で差異はなく、特定の地区に問題がある等の状況にはありません。					対 前年度
						 (横ばい) 目 標 達成度 (低)

■基本事業の成果状況と評価

基本事業01 情報の適切な管理

指標	情報漏えい件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。前年度と同様に、情報が漏えいした案件は、ありませんでした。 (原因) 各部署において、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。	(件)				☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業02 出納事務の適正執行

指標	会計事務処理の事故件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【会計課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 平成28年度は0件で、総合計画開始以来0件を維持しており、順調に推移しています。前年度と同様に、会計事務処理において事故はありませんでした。 (原因) 法令等に基づき、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。執行部署、財政部門、会計課の各プロセス毎の複数回チェックをしているので事務処理の事故が起きていないと考えられます。	(件)				☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業03 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行

指標	選挙事務上の事故件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【市民生活課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 選挙事務上の事故はありませんでした。 (原因) 事前に選挙事務従事者への説明会を開催し、法令規則に従い、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。	(件)				☀ (向上)
						目 標 達成度 ☀ (達成)

基本事業04 迅速・確実な窓口サービスの提供

指標	窓口の職員対応に満足している市民の割合（％）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】		90.1	91.7	95	☁ (横ばい)
評価	基準値は、初取得の平成27年度の値	(％)				☁ (横ばい)
	(状況) 平成28年度は91.7％で、前回調査より1.6ポイント向上しましたが、統計誤差の範囲であり、ほぼ横ばいです。 (原因) 「満足」が30.2％、「やや満足」が20.9％、「ふつう」が40.7％となっており、前回調査との比較で、「満足」が0.6ポイント、「やや満足」が3.4ポイントそれぞれ増加しました。市民から意見等があった場合には職員に周知するなど、サービス向上の取り組みとともに、迅速、確実に事務処理ができるように事務処理マニュアルを整備しています。					目 標 達成度 ■ ■ ■ (低)

指標	窓口業務での不適切な事務処理を行った件数（綱紀委員会の指摘件数）（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値																
	【総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)																
評価	（状況）平成28年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。前年度と同様に、窓口業務で不適切な事務処理を行った案件は、ありませんでした。 （原因）各窓口において、適切な事務処理に努めている成果と考えられます。	(件) <table border="1"> <caption>窓口業務での不適切な事務処理を行った件数（綱紀委員会の指摘件数）</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H26</td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td>0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>0</td></tr> <tr><td>H29</td><td>0</td></tr> <tr><td>H30</td><td>0</td></tr> <tr><td>H31</td><td>0</td></tr> <tr><td>H32</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>				年度	件数	H26	0	H27	0	H28	0	H29	0	H30	0	H31	0	H32	0	対 前年度
		年度	件数																			
H26	0																					
H27	0																					
H28	0																					
H29	0																					
H30	0																					
H31	0																					
H32	0																					
						☀ (向上)																
						目 標 達成度																
						🏰 (達成)																

指標	監査事務処理の事故件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【監査委員事務局】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	（状況）平成28年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。 （原因）法令等に基づき、適正な事務処理に努めている成果と考えられます。					対 前年度
						☀ (向上)
						目 標 達成度
						🏠 (達成)

指標	議会事務処理の事故件数（件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【議会事務局】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	（状況）平成28年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。 （原因）適正な事務処理に努めている成果と考えられます。	(件) 				対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達 成 度 (達成)

指標	ウイルス感染件数（ウイルス対策ソフトで駆除されたものは除く。） （件）	実績値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	目標値 (H32)	対 基準値
	【総務課】	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	（状況）平成28年度は0件で、総合計画開始以降、0件を維持しており、順調となっています。前年度と同様に、ウイルスに感染した案件は、ありませんでした。 （原因）常時ウイルス検知ソフト・機器により監視するなど、適正な管理に努めている成果と考えられます。					対 前年度 ☀ (向上) 目 標 達成度 (達成)

政策名	施策名	基本事業名	成果指標名	掲載
01 安全・安心な暮らしの実現	01 地域医療体制の充実	01 あがの市民病院の機能強化	市内や近隣に、必要な医療機関が整っていると感じる市民の割合	●
			外来患者数	●
			病床利用率	●
			救急搬送者のうち、あがの市民病院に搬送された者の割合	
		02 各医療機関の機能分担の強化	かかりつけ医を持っている市民の割合	●
			休日・夜間診療体制を知っている市民の割合	●
		02 健康づくりの推進	健康であると感じる市民の割合(身体)	●
			健康であると感じる市民の割合(こころ)	●
			人口千人当たりの病気等での死者数(死亡率)	●
			朝食の欠食者の割合(20歳代)	●
		01 望ましい食習慣の確立	適正な体重を維持していない市民の割合(20～60歳代男性の肥満者の割合)	
			適正な体重を維持していない市民の割合(40～60歳代女性の肥満者の割合)	
			適正な体重を維持していない市民の割合(20歳代女性のやせの者の割合)	
		02 運動・身体活動の推進	1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している市民の割合(男)	
			1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上実施している市民の割合(女)	
			体操を定期的に実施している市民の割合	●
		03 禁煙と適正飲酒の推進	習慣的に喫煙している市民の割合	●
			適正飲酒を守っている市民の割合	●
		04 こころの健康づくりの推進	悩みを相談できる人や場所を持っている市民の割合	●
			自殺者数	
		05 健(検)診受診率の向上	特定健診受診率	●
			特定保健指導実施率	●
			各種がん検診の受診率(69歳以下)[肺]	
			各種がん検診の受診率(69歳以下)[胃]	
			各種がん検診の受診率(69歳以下)[大腸]	
			各種がん検診の受診率(69歳以下)[乳]	
			各種がん検診の受診率(69歳以下)[子宮]	
		06 歯と口腔の健康づくりの推進	定期的に歯科医院等で歯石除去や歯面清掃を受けている市民の割合	●
			歯間部清掃用具(デンタルフロスや歯間ブラシ等)を使用している市民の割合	
	03 生涯スポーツの充実	01 生涯スポーツ施設の利用促進	週1回以上、スポーツに親しんでいる市民の割合	●
			生涯スポーツ施設の満足度	●
			この1年間に生涯スポーツ施設を利用したことがある市民の割合	●
		02 スポーツに触れ合う機会の提供	子どもが適度な運動をしていると感じる中学生以下の子どもを持つ保護者の割合	●
			定期的に運動をしている中学2年生の割合(男子)	
			定期的に運動をしている中学2年生の割合(女子)	
			定期的に運動をしている小学5年生の割合(男子)	
			定期的に運動をしている小学5年生の割合(女子)	
			スポーツ講座・教室・大会の年間参加者数	●
			住民同士で相互扶助ができていると思う市民の割合	●
	04 地域福祉の推進	01 地域福祉の担い手の育成	阿賀野市ボランティアセンターへの登録人数	●
			この1年間に福祉分野のボランティア活動に参加したことがある市民の割合	●
			社会福祉協議会によるボランティア活動活性化年間活動件数	●
		02 地域で見守り合う仕組みづくり	近所で見守りが必要な人の存在を知っている市民の割合	●
	05 セーフティネットの推進	01 生活困窮者自立支援の推進	支援により就労した人員数(累計)	●
			問題を解決できた件数(累計)	●
		02 生活保護制度の適正な実施	生活保護率	●

政策名	施策名	基本事業名	成果指標名	掲載
01 安全・安心な暮らしの実現	06 防災減災体制の充実		災害死傷者数	●
			人口1万人当たりの火災発生件数(出火率)	●
		01 防災減災意識の高揚	災害に備え家庭で実践している事項数(平均)	●
			防災訓練参加者数(市及び自主防災組織等の訓練)	●
		02 地域防災力の強化	自主防災組織に加入している世帯の割合	●
			防災訓練を実施した自主防災組織及び自治会数	●
			避難行動要支援者支援計画を策定した自主防災組織及び自治会数	●
		03 消防団体制の強化	消防団員の充足率	●
			消防団車両・装備の出動時トラブル・不具合件数	
		04 災害時支援体制の確立	自治体及び事業者等との災害時応援協定締結数	
			県の備蓄指針に対する充足率	●
		05 耐震化の推進	指定避難所の耐震化率	●
			木造住宅の耐震化率	●
		06 治水対策の推進	床上・床下浸水以上の被害に遭った家屋数	●
		07 防火意識の高揚	住宅用火災警報器の設置率	●
			初期消火率	
		08 応急手当の普及	市民による蘇生処置実施率	●
	07 防犯対策の充実		人口1万人当たりの犯罪発生件数	●
			自主防犯団体数(累計)	
		01 防犯意識の高揚	自主防犯団体の延べ活動従事者数	●
			防犯対策として実践している事項数(平均)	
		02 防犯設備の整備充実	防犯灯のLED化実施率	●
		03 消費者に対する防犯対策の推進	市消費者相談窓口への消費生活に係る犯罪と疑われる事案の相談件数	●
	08 交通安全対策の推進	04 青少年の健全育成	少年の年間犯罪・補導件数	●
			人口1万人当たりの交通事故発生件数	●
			交通事故負傷者数	●
		01 交通安全意識の高揚	交通事故死者数	●
			交通安全のため実践している事項数(平均)	●
02 子どもの育成支援の充実	01 子育て環境の充実		市民が第1当事者となった事故件数	●
			交通安全施設の新規整備率(平成28～32年度の整備計画)	●
			子育てしやすい環境になっていると感じる市民の割合	●
			この地域で子育てをしたいと感じる乳幼児の保護者の割合	●
			0～15歳未満の人口	●
			合計特殊出生率	●
		01 未就学児・保護者の交流と不安軽減	子どもを遊ばせる場所が十分にあると感じる保護者の割合	●
			育てにくさを感じた時に対処できる保護者の割合	●
			子どもの社会性の発達過程を知っている保護者の割合	●
		02 多様な保育サービスの充実	特別保育の受入れができなかった人数	●
			この1年間に子どもを預かってもらえないことがあった保護者の割合	●
		03 放課後の多様な過ごし方の提供	放課後児童クラブ待機児童数	
			放課後の子どもの過ごし方に不満を持っていたり、困っている保護者の割合	●
			市が放課後に提供する教室・サービス利用者数(放課後児童クラブ延べ利用者数)	
		04 母子の健やかな成長の支援	市が放課後に提供する教室・サービス利用者数(放課後スクール、温故塾の年間児童・生徒数)	
			妊婦健診未受診での出産数	
			乳幼児健診平均受診率	●
		05 地域子育て力の向上	むし歯がない3歳児の割合	
			近所の子どもにあいさつなど声かけを行っている市民の割合	●
		06 保護者負担の軽減	この1年間に子育て行事に参加したことがある市民の割合	●
			3人目以降の保育料の無料化	●
		07 結婚意識の向上	子どもが2人以下の世帯への医療費の助成	●
			婚姻率(人口千人当たり)	●

政策名	施策名	基本事業名	成果指標名	掲載
02	子どもの育成支援の充実	02 学校教育の充実	全国学力・学習状況調査結果の標準化得点(児童)	●
			全国学力・学習状況調査結果の標準化得点(生徒)	●
			学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合(児童)	●
			学校生活が楽しいと感じる児童生徒の割合(生徒)	●
			01 確かな学力の向上	
			授業が分かる児童生徒の割合(児童)	●
			授業が分かる児童生徒の割合(生徒)	●
			1日1時間以上の家庭学習をしている児童生徒の割合(児童)	
			1日1時間以上の家庭学習をしている児童生徒の割合(生徒)	
			02 こころとからだの健全育成	
			新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合(児童)	●
			新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る児童生徒の割合(生徒)	●
			不登校率(児童)	●
			不登校率(生徒)	●
			基本的生活習慣ができている児童生徒の割合(児童)	
			基本的生活習慣ができている児童生徒の割合(生徒)	
			03 教育環境の充実	
			学校施設の維持管理上の不具合による教育支障件数	
			学校におけるセキュリティ管理に関する事故・トラブル件数	
			心地よい学校生活を送るための施設・備品改善件数(計画期間内累計)	●
			04 安全な学校生活・通学環境の確保	
			学校管理下(通学含む)における事故発件数	
			通学環境に関する満足度	●
			05 学校・家庭・地域の協働体制の推進	
			地域等と連携した特色ある教育活動の支援者数	●
			06 経済的負担の軽減	
			就学援助対象項目	●
			07 故郷への愛着意識の醸成	
			阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合(児童)	●
			阿賀野市に愛着を持っている児童生徒の割合(生徒)	●
			地域行事に参加している児童生徒の割合(児童)	
			地域行事に参加している児童生徒の割合(生徒)	
			学校給食における地場産農産物利用率	
03	高齢者や障がい者福祉の充実	01 高齢者福祉の充実	元気で介護状態にならずに生活している高齢者の割合	●
			01 医療介護の連携	
			介護保険利用者における医療と介護連携の満足度	●
			02 認知症施策の推進	
			認知症の人の在宅割合	●
			認知症を正しく理解している市民の割合	●
			認知症の人に声をかけられる市民の割合	●
			03 日常生活の支援	
			市で実施している買物支援や家事支援等の生活支援メニュー利用者数	●
			ボランティア・NPO法人等が実施している買物支援や家事支援等の生活支援メニュー数	●
			外出時の移動に困っている高齢者の割合	●
			買物に困っている高齢者の割合	●
			04 介護予防・社会参加の推進	
			要支援認定の新規該当者の平均年齢	●
			社会参加・交流している高齢者の割合(サロン、老人クラブ)	●
			05 介護サービスの質と量の充実	
			介護サービスの満足度	●
			入所待機者数(要介護度3以上)	●
	02 障がい者福祉の充実	01 障がい者への適切な支援	在宅で生活している障がい者の割合	●
			在宅で安心して生活できていると感じる障がい者の割合	●
			自立支援給付サービスの利用者数	
			障がいの特性や能力に応じて適切なサービスを受けられていると感じる障がい者の割合	●
		02 地域生活支援の基盤づくり	住み慣れた地域で生活を送ることができていると感じる障がい者の割合	●
			地域生活支援事業の利用者数	●
		03 社会参加の促進	就労訓練を受けることができる障害福祉サービス事業所数	
			就労訓練施設から就職し、1年以上働き続けている障がい者数	●

政策名	施策名	基本事業名	成果指標名	掲載
04 地域経済の活性化	01 農業の振興		農産物の作付面積	●
			市内総生産額(農業)	●
		01 担い手の育成と経営規模拡大への支援	1経営体当たり経営面積	●
			新規就農者数(平成27～32年度累計)	●
		02 経営の組織化・法人化の推進	農業生産法人数(水稻主体の法人)	●
			市内農産物の作付面積に占める農業生産法人(水稻主体の法人)経営面積の割合	
		03 生産基盤の整備	圃場整備率	●
		04 産地化・ブランド化の推進	重点5品目の作付面積	●
			6次産業化した経営体数	
		05 畜産振興と耕畜連携	家畜頭羽数	
			家畜頭羽数	
			たい肥散布面積	●
		06 地産地消の推進と消費者との交流促進	市内農産物の直売・店舗販売額(農産物直売所販売高)	●
			年間農業体験交流者数	●
	02 商工業の振興		製造品出荷額等	●
			市内総生産額(第2次・第3次産業)	●
		01 企業誘致の推進	県東部産業団地の事業所で働いている人の数(累計)	●
		02 創業・事業展開の支援	創業件数(平成27～32年度の累計)	●
			新規事業化支援件数(平成27～32年度の累計)	●
		03 事業所の経営支援	法人税割を納めている事業所数	●
		04 買物環境改善による市内購買力向上	日用品や食料品を市内で買う市民の割合	●
			日用品や食料品の買物に困っている市民の割合	●
		05 就労の促進	有効求職者数(市民)	●
			人手が不足している市内事業所の割合	●
	03 観光の振興		観光客入込数	●
			宿泊施設に占めるリピーターの割合(2回以上)	●
		01 地域資源を生かした観光の活性化	宿泊施設の連泊(2泊以上)利用者数	●
		02 情報発信の強化	シティーセールスサポーター数	●
			阿賀野市観光協会フェイスブックのフォロワー数	●
		03 観光施設の維持管理と整備充実	観光施設の満足度	●
05 生活に密着した住環境整備の促進	01 土地の有効利用		各地区の特性を踏まえた開発・にぎわいづくりなどバランスのとれた土地活用(整備)が行われていると感じる	●
		01 新たな生活・交流の拠点形成	拠点形成への事業化が決定した箇所数	●
		02 適正な開発の促進	転入者の住宅取得件数(平成28～32年度の累計)	●
			商業工業施設の開発面積(平成28～32年度の累計)	
		03 土地・家屋の適正利用と有効活用	管理不全な空き家数	●
		04 公園の維持管理と整備充実	憩いの場としての公園の満足度	●
	02 道路環境の充実		道路の整備状況が充実していると感じる市民の割合	●
		01 市外へのアクセス向上	新潟県東部産業団地から新潟亀田ICまでの移動時間	●
		02 生活道路の維持管理と整備充実	市内の車での移動に対する満足度	●
		03 効率的な除排雪の推進	除排雪に満足している市民の割合	●
		04 橋りょうの長寿命化	橋りょうの長寿命化率	●
	03 公共交通の充実		公共交通機関の満足度	●
		01 市内の交通手段の確保	市営バスの年間総利用者数	●
			市内移動の公共交通機関の満足度	●
		02 市外への交通手段の確保	市外移動の公共交通機関の満足度	●
			水原駅の1日平均乗客数	●
	04 上下水道の安定供給		安全・安心な水道水が供給されていると感じる市民の割合	●
			大規模断水事故件数	●
		01 安定供給の推進	管路の耐震化率	●
			浄水施設の耐震化率	●
		02 安全供給の推進	浄水施設の機能不全件数	
			水道水の水質検査において基準を上回った件数	●
		03 健全経営の推進	有収率	●
			経常収支比率(一般会計基準外繰入金除く)	

政策名	施策名	基本事業名	成果指標名	掲載
05 生活に密着した住環境整備の促進	05 汚水処理の推進		汚水処理人口普及率	●
		01 汚水処理施設の整備と接続の促進	水洗化率	●
			単独浄化槽設置基数	●
		02 汚水処理施設の維持管理の推進	浄化センター・管路施設の不具合・トラブル件数	●
			03 持続可能な下水道経営の推進	経常収支比率
		一般会計からの法定外繰出金		
	06 生活衛生・環境の保全		最終処分量	●
			生活衛生・環境に関する苦情件数	●
		01 3Rの推進	市民1人当たりのごみの年間排出量 [リデュース]	●
			中古品・フリーマーケット・詰替品等で積極的に再利用している市民の割合 [リユース]	●
			ごみの資源化率 [リサイクル]	●
			公害(騒音・振動・悪臭・水質汚濁)苦情件数	●
		02 生活衛生・環境の確保	空き地の管理及び害虫獣に関する苦情件数	●
			犬・猫の飼育マナーに関する苦情件数	
		03 適正なごみ処理の推進	不法投棄の発生確認件数	●
			野焼きの苦情件数	
		04 ごみ処理体制の適正化	分別不適合率(焼却量に対する不燃物の含有率)	●
			市民1人当たりのごみの処理コスト	●
	07 地球環境・自然環境の保全		ごみ処理における事故件数	
			自然環境に満足している市民の割合	●
			地球にやさしい取組みの平均実践項目数	●
		01 大気・水質の保全	大気の基準値を上回った件数	●
			河川等の水質基準を上回った件数	●
		02 自然資源の保全・活用	自然環境保全活動に参加している市民の割合	●
			森林間伐(育林)面積	
		03 地球環境の保全	再生可能エネルギーによる発電総出力	
市の施設における温室効果ガス(CO2)排出量			●	
06 市民協働の推進		01 市民によるまちづくり活動の推進と支援		市民と行政が協働してまちづくりを行っていると感じる市民の割合
			コミュニティ活動に参加している市民の割合	●
	01 コミュニティ施設の利用促進		コミュニティ施設(自治会集会施設)に対する自治会長の満足度	●
			コミュニティ施設(自治会集会施設)が有効に使われていると感じる自治会長の割合	●
	02 自治会活動の活性化		活動が困難になっている行事がある自治会の割合	●
			市民活動団体・ボランティア活動団体登録数(累計)	●
	03 市民活動の活性化		ボランティア活動に取り組む市民の割合	●
			市民活動団体・ボランティア活動団体との連携・協働によるまちづくり事業数	●
	04 ポイント制度を活用した地域の活性化の推進		地域ポイントカードの発行枚数(累計)	●
			地域ポイントカード加盟店数	●
	02 生涯学習の充実		生涯学習活動に取り組んでいる市民の割合	●
			学習成果を地域や社会に還元している市民の割合	●
		01 主体的な学習活動の推進	市民主体の年間学習活動回数(延べ)	●
			社会教育関係団体認定件数	
			事業計画に社会還元のための講座等を組み入れている社会教育関係団体の割合	
			学習機会(テーマ・教室)が充実していると感じる市民の割合	●
		02 学習機会の提供と生涯学習施設の利用促進	生涯学習施設の満足度	
			この1年間に生涯学習施設を利用したことがある市民の割合	●
		03 文化財の保護・活用	指定文化財件数[国]	
			指定文化財件数[県]	
			指定文化財件数[市]	
			資料館・博物館の利用及び文化行政事業に参加したことがある市民の割合	●

政策名	施策名	基本事業名	成果指標名	掲載
06 市民協働の推進	03 人権を尊重するひとづくり		差別や偏見のないまちになっていると感じる市民の割合	●
		01 高齢者の人権擁護の推進	高齢者虐待認知件数	●
		02 障がい者の人権擁護の推進	障がい者虐待認知件数	●
		03 児童虐待やいじめ防止対策の推進	児童虐待認知件数	●
			いじめの認知件数	●
		04 男女共同参画の推進	固定的な性別役割分担意識を持つ市民の割合	●
			家庭において男女共同参画を行っている市民の割合	
		05 同和問題の意識の高揚	同和問題を知っている市民の割合	●
	04 開かれた市政の推進と効果的な情報発信	06 人権意識の向上	水俣病に関する偏見・差別が存在することを知っている市民の割合	●
			この1年間に人権侵害を受けたことがある市民の割合	●
			市からの情報提供に満足している市民の割合	●
			市からの情報発信や広聴等により、開かれた行政になっていると感じる市民の割合	●
			阿賀野市の知名度の県内順位	●
			阿賀野市の知名度の全国順位	●
		01 情報提供の充実	広報紙で定期的に市政情報を見ている市民の割合	●
			ホームページの内容充実度	
			年間ホームページアクセス数	●
07 信頼される行政経営	01 行政経営の推進	02 広聴活動・情報公開の充実	広聴等による意見・提案・質問数	●
			不服申立てによる情報公開決定件数	
		03 情報発信の強化	この1年間で知人・友人に対し、阿賀野市への居住・観光を勧めたことのある市民の割合	
			移住・定住窓口相談件数	
			移住・定住ホームページアクセス数	●
			効率的・効果的な行政財政運営が行われていると感じる市民の割合	●
			施策目標の達成率	●
		01 成果重視の行政経営の推進	基本事業目標の達成率	●
			成果が順調・向上した事務事業の割合	●
			施策や事業の成果を意識して業務を行っている職員の割合	
			行政評価と予算・決算が連動していると感じる職員の割合	
		02 健全な財政運営の推進	実質公債費比率	●
			将来負担比率	●
			財政調整基金残高	
		03 組織・人事マネジメントの充実	職員数	
			市の職員がそれぞれの職責を果たしていると感じる職員の割合	
			組織間・組織内連携が十分に図られていると感じる職員の割合	●
	組織・職員が市民・地域の問題や行政課題に関し、迅速かつ適切に対応・解決できていると感じる職員の割合			
	適材適所な人材が配置されていると感じる職員の割合	●		
04 公共施設等のマネジメントの推進	市民1人当たりの公共施設等延床面積	●		
05 自主財源の確保	市税収納率	●		
	市税滞納額			
02 適切な事務執行とサービス提供		適正な事務処理がされず市民に影響を与えた件数	●	
		事務執行や行政サービスに満足している市民の割合	●	
	01 情報の適切な管理	情報漏えい件数	●	
	02 出納事務の適正執行	会計事務処理の事故件数	●	
	03 積極的な選挙啓発と適正な選挙事務の執行	国政選挙投票率		
		県政選挙投票率		
		市政選挙投票率		
		選挙事務上の事故件数	●	
	04 迅速・確実な窓口サービスの提供	窓口の職員対応に満足している市民の割合	●	
		窓口業務での不適切な事務処理を行った件数(綱紀委員会の指摘件数)	●	
		05 監査事務の適正執行	監査事務処理の事故件数	●
	06 議会事務の適正執行	議会事務処理の事故件数	●	
	07 ITの適切な管理	システムダウン件数		
		ウイルス感染件数(ウイルス対策ソフトで駆除されたものは除く。)	●	